

令和5年5月18日

尼崎市環境基本計画改定部会

資料2

尼崎市環境基本計画の改定・尼崎市生物多様性地域戦略の

策定のための市民意識調査

調査結果報告書

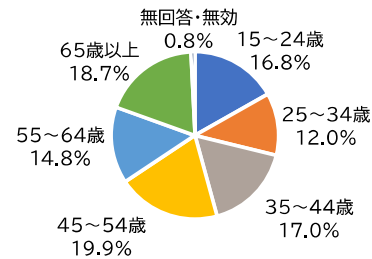
市民アンケート実施概要	
調査対象	尼崎市民 2,500 人（15 歳以上の市民） ※32 通が宛先不明で返送
調査時期	発送：2022年12月7日 締切：2022年12月28日
調査方法	・無作為抽出 ・郵送配布／郵送回収、WEB 回収
回収数	507（郵送 338 件、WEB169 件）
回収率	$507 \div 2468 = 20.5\%$

1 ご回答者の属性

問1 あなたの年齢をお答えください。(〇は一つ)

- ・「45～54歳」とする回答が19.9%と最も多く、ついで「65歳以上」が18.7%、「35～44歳」が17.0%となっています。

選択肢	合計	割合
15～24歳	85	16.8%
25～34歳	61	12.0%
35～44歳	86	17.0%
45～54歳	101	19.9%
55～64歳	75	14.8%
65歳以上	95	18.7%
無回答・無効	4	0.8%
回答数	507	100.0%

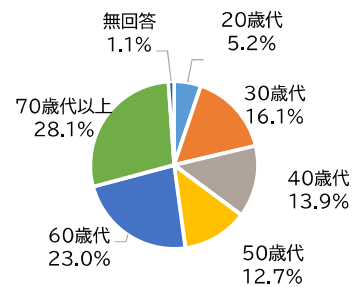


【参考】現行計画策定時（2013年）の結果との比較

- ・現行計画策定時（2013年）は、「70歳代以上」とする回答が28.1%と最も多く、ついで「60歳代」が23.0%、「30歳代」が16.1%となっています。
- ・過年度の調査では今回の調査と選択肢の年齢区分が異なるものの、今回の調査の方が回答者に占める若い世代の構成割合が高くなっています。

【現行計画策定時の調査結果】

選択肢	割合
20歳代	5.2%
30歳代	16.1%
40歳代	13.9%
50歳代	12.7%
60歳代	23.0%
70歳代以上	28.1%
無回答	1.1%

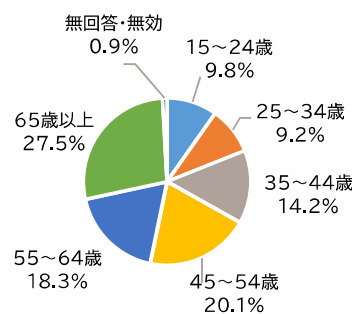


□ 回収方法別

郵送回収

- ・ 郵送回収では、「65歳以上」とする回答が27.5%と最も多く、ついで「45～54歳」が20.1%、「55～64歳」が18.3%となっています。

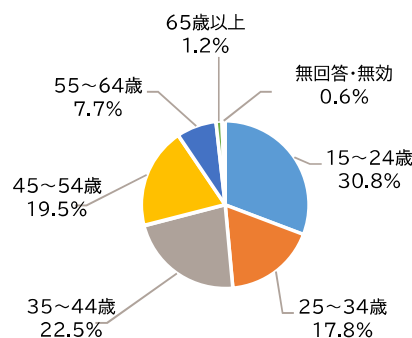
選択肢	合計	割合
15～24歳	33	9.8%
25～34歳	31	9.2%
35～44歳	48	14.2%
45～54歳	68	20.1%
55～64歳	62	18.3%
65歳以上	93	27.5%
無回答・無効	3	0.9%
回答数	338	100.0%



WEB回答

- ・ WEB回答では、「15～24歳」とする回答が30.8%と最も多く、ついで「35～44歳」が11.2%、「45～54歳」が9.8%となっています。

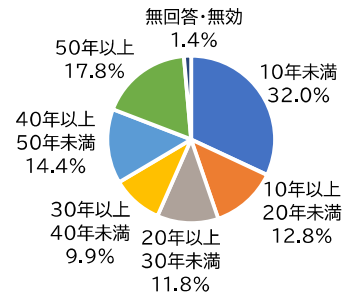
選択肢	合計	割合
15～24歳	52	30.8%
25～34歳	30	17.8%
35～44歳	38	22.5%
45～54歳	33	19.5%
55～64歳	13	7.7%
65歳以上	2	1.2%
無回答・無効	1	0.6%
回答数	169	100.0%



問2 あなたの尼崎市での居住年数をお答えください。(〇は1つ)

- ・「10年未満」とする回答が32.0%と最も多く、ついで「50年以上」が17.8%、「40年以上50年未満」が14.4%となっています。

選択肢	合計	割合
10年未満	162	32.0%
10年以上20年未満	65	12.8%
20年以上30年未満	60	11.8%
30年以上40年未満	50	9.9%
40年以上50年未満	73	14.4%
50年以上	90	17.8%
無回答・無効	7	1.4%
回答数	507	100.0%

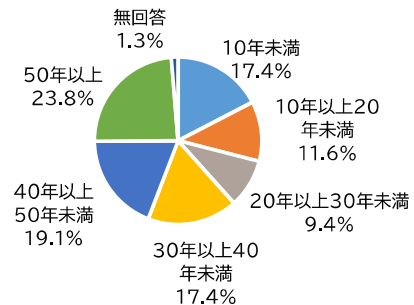


【参考】現行計画策定時（2013年）の結果との比較

- ・現行計画策定時（2013年）は、「50年以上」とする回答が23.8%と最も多く、ついで「40年以上50年未満」が19.1%、「10年未満」、「30年以上40年未満」が17.4%となっています。
- ・今回の調査の方が、10年未満とする回答が多くなっています。

【現行計画策定時の調査結果】

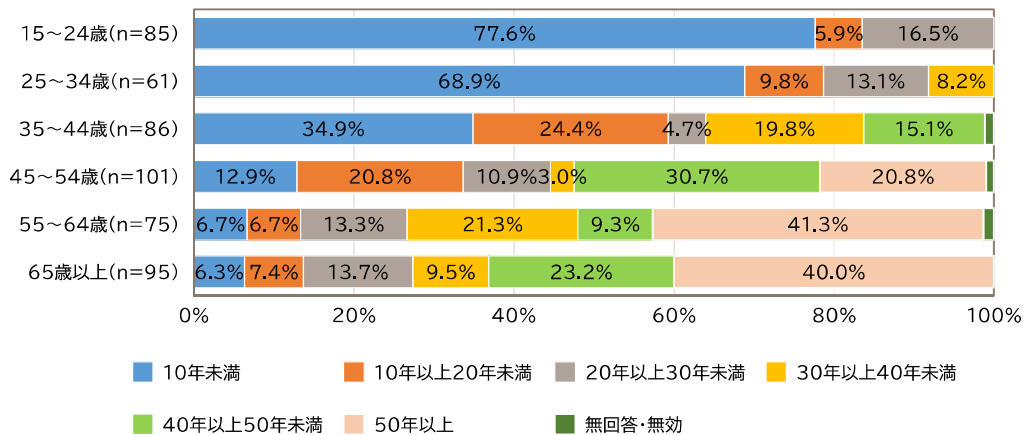
選択肢	割合
10年未満	17.4%
10年以上20年未満	11.6%
20年以上30年未満	9.4%
30年以上40年未満	17.4%
40年以上50年未満	19.1%
50年以上	23.8%
無回答	1.3%



□ 年齢別

- ・15～24歳や25～34歳では、10年未満と答える割合が約69%～78%となっています。
- ・45歳以上では、40年以上とする回答が半数以上になっています。

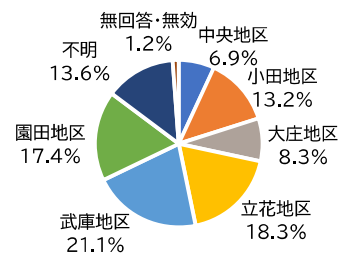
選択肢	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上	無回答・無効	回答数
10年未満	66	42	30	13	5	6	0	162
10年以上20年未満	5	6	21	21	5	7	0	65
20年以上30年未満	14	8	4	11	10	13	0	60
30年以上40年未満	0	5	17	3	16	9	0	50
40年以上50年未満	0	0	13	31	7	22	0	73
50年以上	0	0	0	21	31	38	0	90
無回答・無効	0	0	1	1	1	0	4	7
回答数	85	61	86	101	75	95	4	507



問3 あなたのお住まいの地区をお答えください。(〇は1つ)

・「武庫地区」とする回答が21.1%と最も多く、ついで「立花地区」が18.3%、「園田地区」が17.4%となっています。

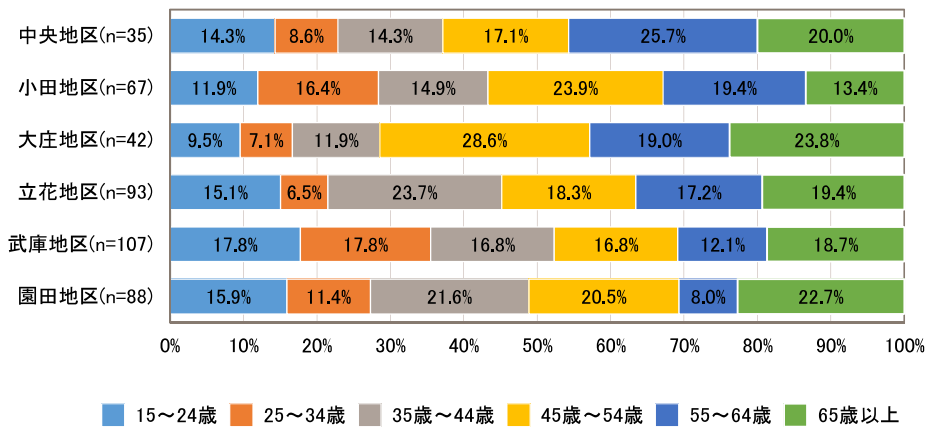
選択肢	合計	割合
中央地区	35	6.9%
小田地区	67	13.2%
大庄地区	42	8.3%
立花地区	93	18.3%
武庫地区	107	21.1%
園田地区	88	17.4%
不明	69	13.6%
無回答・無効	6	1.2%
回答数	507	100.0%



□ 年齢別

- ・地区別の年齢構成を見ると、34歳以下の年齢層の割合が高いのは、武庫地区、小田地区、園田地区となっています。
- ・55歳以上の年齢層の割合が高いのは、中央地区、大庄地区、立花地区となっています。

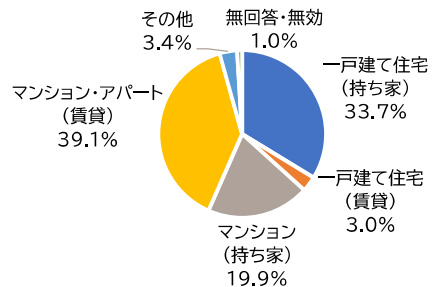
選択肢	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上	無回答・無効	回答数
中央地区	5	3	5	6	9	7	0	35
小田地区	8	11	10	16	13	9	0	67
大庄地区	4	3	5	12	8	10	0	42
立花地区	14	6	22	17	16	18	0	93
武庫地区	19	19	18	18	13	20	0	107
園田地区	14	10	19	18	7	20	0	88
不明	21	9	7	14	7	11	0	69
無回答・無効	0	0	0	0	2	0	4	6
回答数	85	61	86	101	75	95	4	507



問4 あなたの住居の形態をお答えください。(〇は1つ)

・「マンション・アパート(賃貸)」とする回答が39.1%と最も多く、ついで「一戸建て住宅(持ち家)」が33.7%、「マンション(持ち家)」が19.9%となっています。

選択肢	合計	割合
一戸建て住宅(持ち家)	171	33.7%
一戸建て住宅(賃貸)	15	3.0%
マンション(持ち家)	101	19.9%
マンション・アパート(賃貸)	198	39.1%
その他	17	3.4%
無回答・無効	5	1.0%
回答数	507	100.0%



【参考】現行計画策定時(2013年)の結果との比較

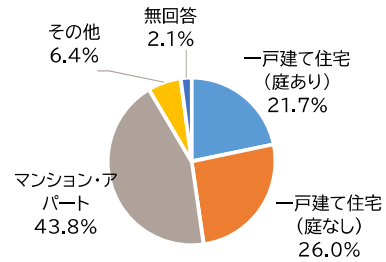
・現行計画策定時(2013年)は、「マンション・アパート」とする回答が43.8%と最も多く、ついで「一戸建て住宅(庭なし)」が26.0%、「一戸建て住宅(庭あり)」が21.7%

となっています。

- ・過年度の調査では今回の調査と選択肢の区分が異なるものの、今回の調査の方が一戸建て住宅の割合が少なく、マンションなどの割合が高くなっています。

【現行計画策定時の調査結果】

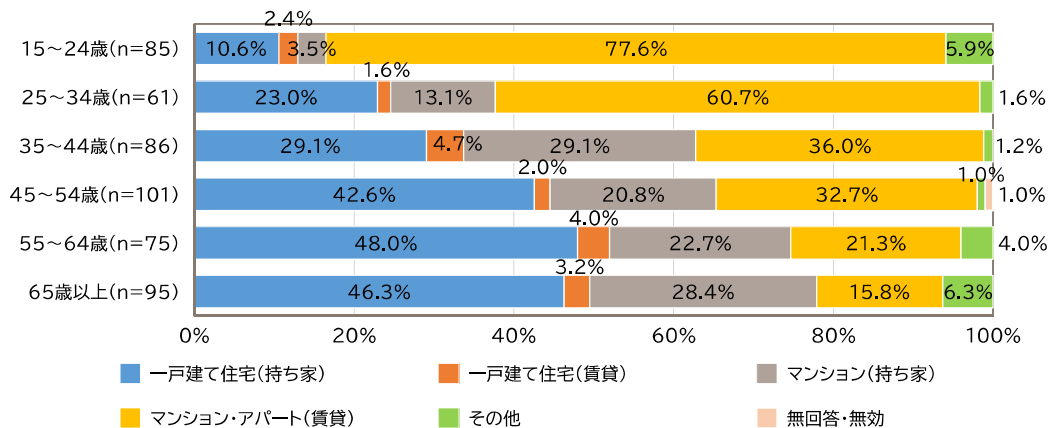
選択肢	割合
一戸建て住宅(庭あり)	21.7%
一戸建て住宅(庭なし)	26.0%
マンション・アパート	43.8%
その他	6.4%
無回答	2.1%



□ 年齢別

- ・年齢別にみると、年齢層が高いほど「一戸建て(持ち家)」の割合が高くなる傾向にあります。
- ・34歳以下の世代ではマンション・アパート(賃貸)が6割以上を占めています。

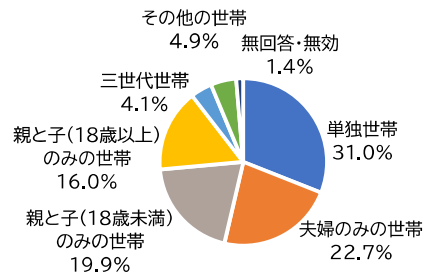
選択肢	15~24歳	25~34歳	35~44歳	45~54歳	55~64歳	65歳以上	無回答・無効	回答数
一戸建て住宅(持ち家)	9	14	25	43	36	44	0	171
一戸建て住宅(賃貸)	2	1	4	2	3	3	0	15
マンション(持ち家)	3	8	25	21	17	27	0	101
マンション・アパート(賃貸)	66	37	31	33	16	15	0	198
その他	5	1	1	1	3	6	0	17
無回答・無効	0	0	0	1	0	0	4	5
回答数	85	61	86	101	75	95	4	507



問5 あなたの世帯構成をお答えください。(〇は1つ)

- ・「単独世帯」とする回答が31.0%と最も多く、ついで「夫婦のみの世帯」が22.7%、「親と子(18歳未満)のみの世帯」が19.9%となっています。

選択肢	合計	割合
単独世帯	157	31.0%
夫婦のみの世帯	115	22.7%
親と子(18歳未満)のみの世帯	101	19.9%
親と子(18歳以上)のみの世帯	81	16.0%
三世帯世帯	21	4.1%
その他の世帯	25	4.9%
無回答・無効	7	1.4%
回答数	507	100.0%

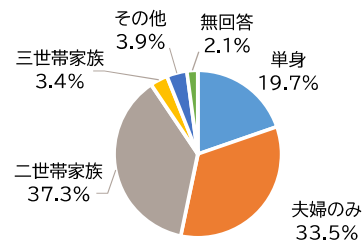


【参考】現行計画策定時(2013年)の結果との比較

- ・現行計画策定時(2013年)は、「二世帯家族」とする回答が37.3%と最も多く、ついで「夫婦のみ」が33.5%、「単身」が19.7%となっています。
- ・過年度の調査では今回の調査と選択肢の区分が異なるものの、今回の調査の方が単独世帯の割合が高くなっています。

【現行計画策定時の調査結果】

選択肢	割合
単身	19.7%
夫婦のみ	33.5%
二世帯家族	37.3%
三世帯家族	3.4%
その他	3.9%
無回答	2.1%

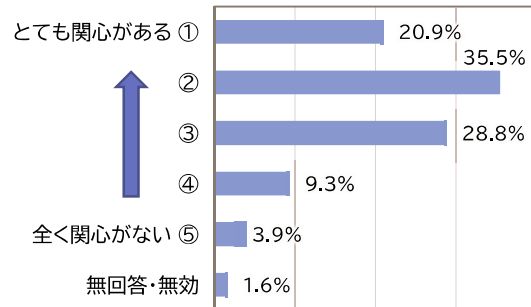


2 自然とのふれあいの状況

問6 あなたの自然への関心度合いを5段階でお答えください。(〇は1つ)

- ・5段階のうち、「②」とする回答が35.5%と最も多く、ついで「③」が28.8%、「①とても関心がある」が20.9%となっています。

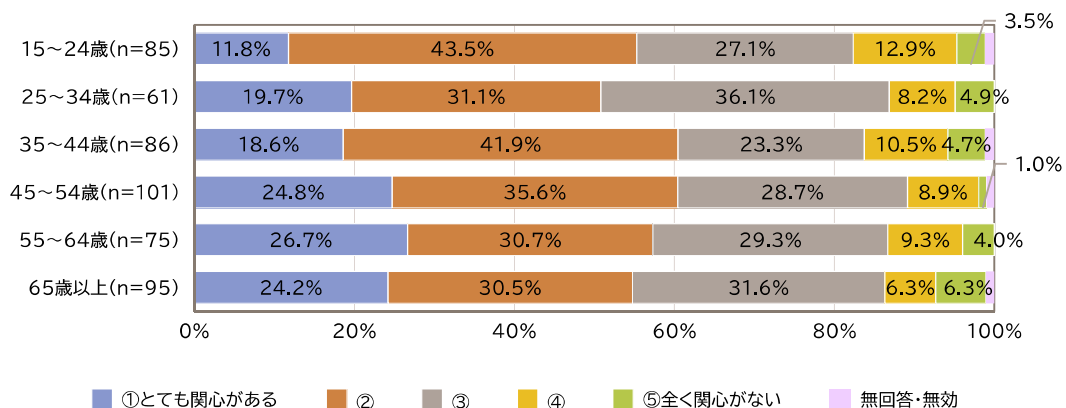
選択肢	合計	割合
①とても関心がある	106	20.9%
②	180	35.5%
③	146	28.8%
④	47	9.3%
⑤全く関心がない	20	3.9%
無回答・無効	8	1.6%
回答数	507	100.0%



□ 年齢別

- ・年齢別では、「①とても関心がある」とする回答は55～64歳で26.7%と最も高い割合を示し、15～24歳では11.8%と最も低い割合となっています。

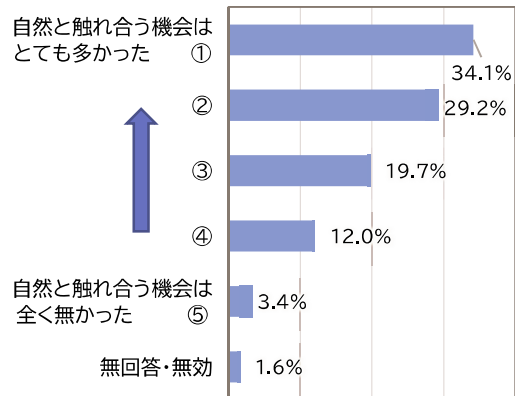
選択肢	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上	無回答・無効	回答数
①とても関心がある	10	12	16	25	20	23	0	106
②	37	19	36	36	23	29	0	180
③	23	22	20	29	22	30	0	146
④	11	5	9	9	7	6	0	47
⑤全く関心がない	3	3	4	1	3	6	0	20
無回答・無効	1	0	1	1	0	1	4	8
回答数	85	61	86	101	75	95	4	507



問7 あなたの子どものごころ（概ね小学校卒業まで）の自然体験の状況について5段階でお答えください。（〇は1つ）

・「①自然と触れ合う機会はとても多かった」とする回答が34.1%と最も多く、ついで「②」が29.2%、「③」が19.7%となっています。

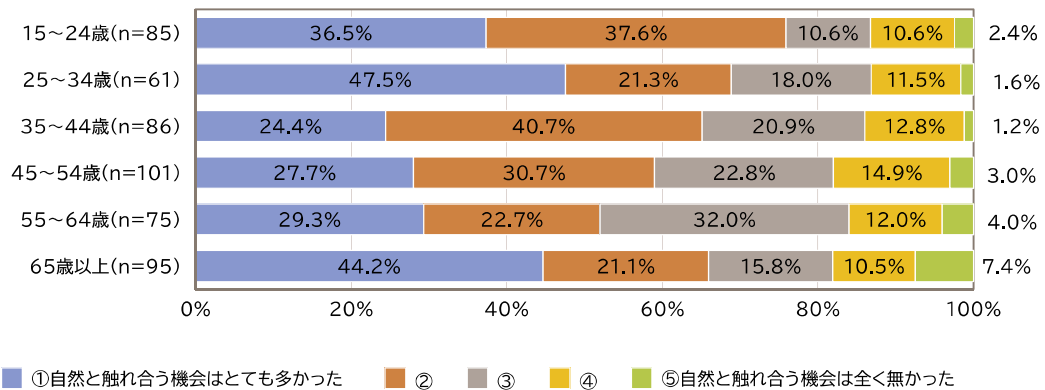
選択肢	合計	割合
①自然と触れ合う機会はとても多かった	173	34.1%
②	148	29.2%
③	100	19.7%
④	61	12.0%
⑤自然と触れ合う機会は全く無かった	17	3.4%
無回答・無効	8	1.6%
回答数	507	100.0%



□ 年齢別

・年齢別では、「①自然と触れ合う機会はとても多かった」とする回答は25～34歳で47.5%と最も高い割合を示し、35～44歳では24.4%と最も低い割合となっています。

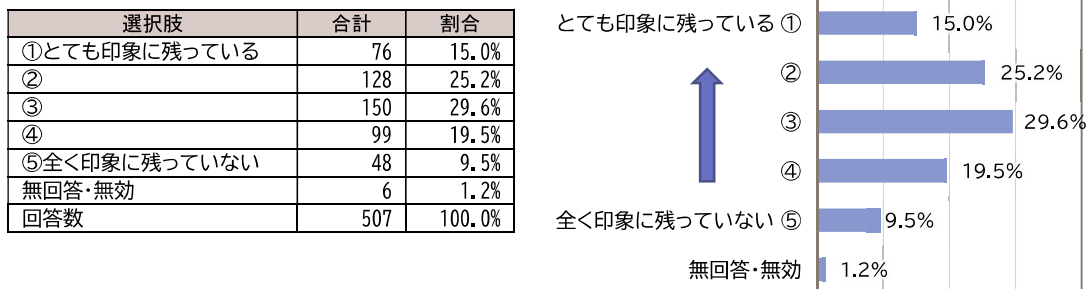
選択肢	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上	無回答・無効	回答数
①自然と触れ合う機会はとても多かった	31	29	21	28	22	42	0	173
②	32	13	35	31	17	20	0	148
③	9	11	18	23	24	15	0	100
④	9	7	11	15	9	10	0	61
⑤自然と触れ合う機会は全く無かった	2	1	1	3	3	7	0	17
無回答・無効	2	0	0	1	0	1	4	8
総計	85	61	86	101	75	95	4	507



3 概ね小学校卒業時までの環境学習の状況

問8 あなたの子どものころ（概ね小学校卒業まで）に学んできた環境問題について5段階でお答えください。（○は1つ）

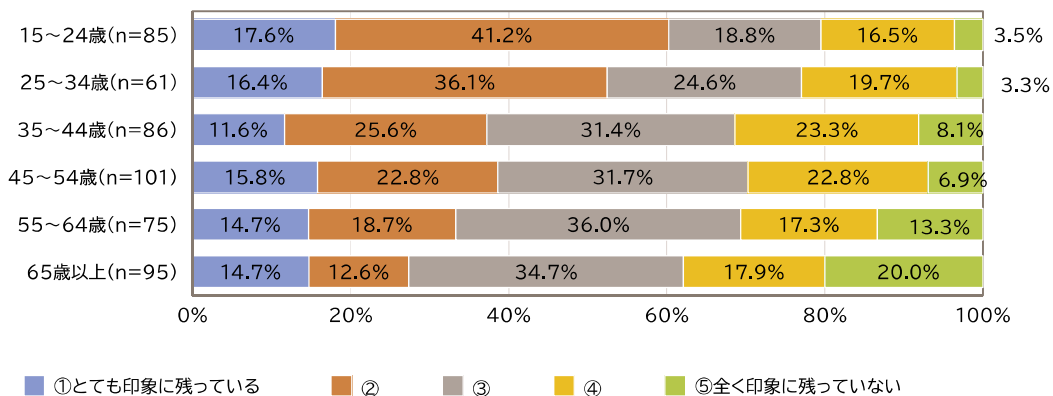
・「③」とする回答が29.6%と最も多く、ついで「②」が25.2%、「④」が19.5%となっています。



□ 年齢別

・年齢別では、「①とても印象に残っている」とする回答は15～24歳で17.6%と最も高い割合を示し、35～44歳では11.6%と最も低い割合となっています。

選択肢	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上	無回答・無効	回答数
①とても印象に残っている	15	10	10	16	11	14	0	76
②	35	22	22	23	14	12	0	128
③	16	15	27	32	27	33	0	150
④	14	12	20	23	13	17	0	99
⑤全く印象に残っていない	3	2	7	7	10	19	0	48
無回答・無効	2	0	0	0	0	0	4	6
総計	85	61	86	101	75	95	4	507

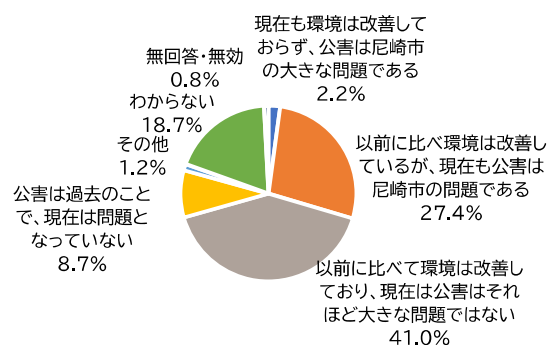


4 公害問題に関する認識

問9 ニ崎市は過去に大気汚染や水質汚濁などの深刻な公害問題に直面しました。その後、様々な取組が行われ、現在の環境となっています。あなたは、尼崎市の公害の現状についてどのようにお考えですか。当てはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- ・「以前に比べて環境は改善しており、現在は公害はそれほど大きな問題ではない」とする回答が41.0%と最も多く、ついで「以前に比べ環境は改善しているが、現在も公害は尼崎市の問題である」が27.4%、「わからない」が18.7%となっています。

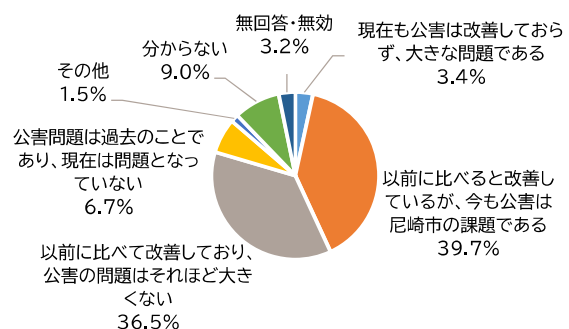
選択肢	合計	割合
現在も環境は改善しておらず、公害は尼崎市の大きな問題である	11	2.2%
以前に比べ環境は改善しているが、現在も公害は尼崎市の問題である	139	27.4%
以前に比べて環境は改善しており、現在は公害はそれほど大きな問題ではない	208	41.0%
公害は過去のこと、現在は問題となっていない	44	8.7%
その他	6	1.2%
わからない	95	18.7%
無回答・無効	4	0.8%
回答数	507	100.0%



【参考】現行計画策定時（2013年）の結果との比較

- ・現行計画策定時（2013年）は、「以前に比べると改善しているが、今も公害は尼崎市の課題である」とする回答が39.7%と最も多く、ついで「以前に比べて改善しており、公害の問題はそれほど大きくない」が36.5%、「分からない」が9.0%となっています。
- ・今回の調査では、前回の調査に比べて「以前に比べ環境は改善しているが、現在も公害は尼崎市の問題である」とする回答が少なく、「以前に比べて環境は改善しており、現在は公害はそれほど大きな問題ではない」とする回答が多くなっています。

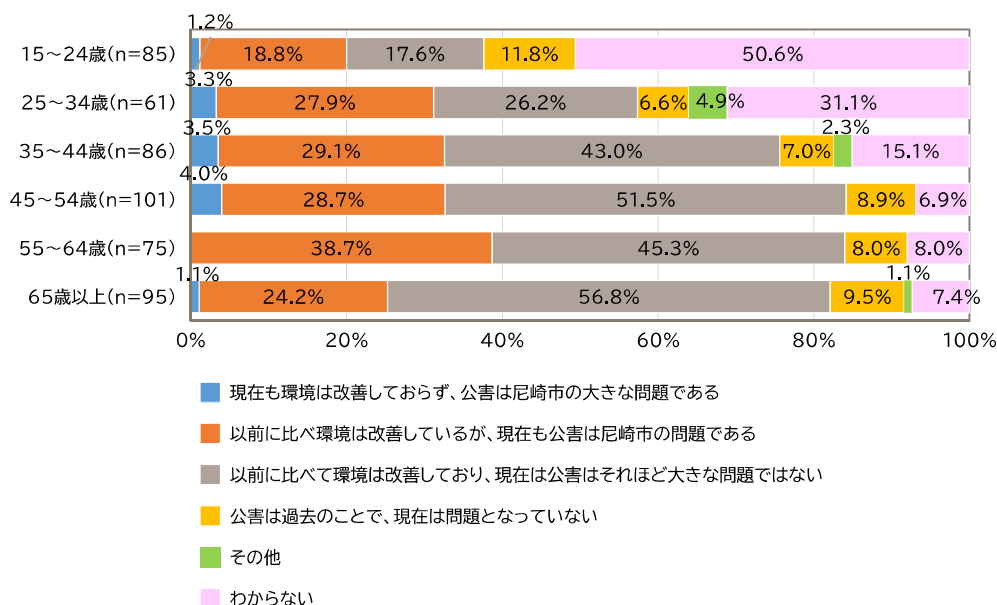
選択肢	割合
現在も公害は改善しておらず、大きな問題である	3.4%
以前に比べると改善しているが、今も公害は尼崎市の課題である	39.7%
以前に比べて改善しており、公害の問題はそれほど大きくない	36.5%
公害問題は過去のことであり、現在は問題となっていない	6.7%
その他	1.5%
分からない	9.0%
無回答・無効	3.2%



□ 年齢別

- ・年齢別では、「以前に比べ環境は改善しているが、現在も公害は尼崎市の問題である」とする回答は55～64歳で38.7%と最も高い割合を示し、15～24歳では18.8%と最も低い割合となっています。
- ・「以前に比べて環境は改善しており、現在は公害はそれほど大きな問題ではない」とする回答は65歳以上で56.8%と最も高い割合を示し、15～24歳では17.6%と最も低い割合となっています
- ・「分からない」とする回答は15～24歳で50.6%と最も高い割合を示しています。

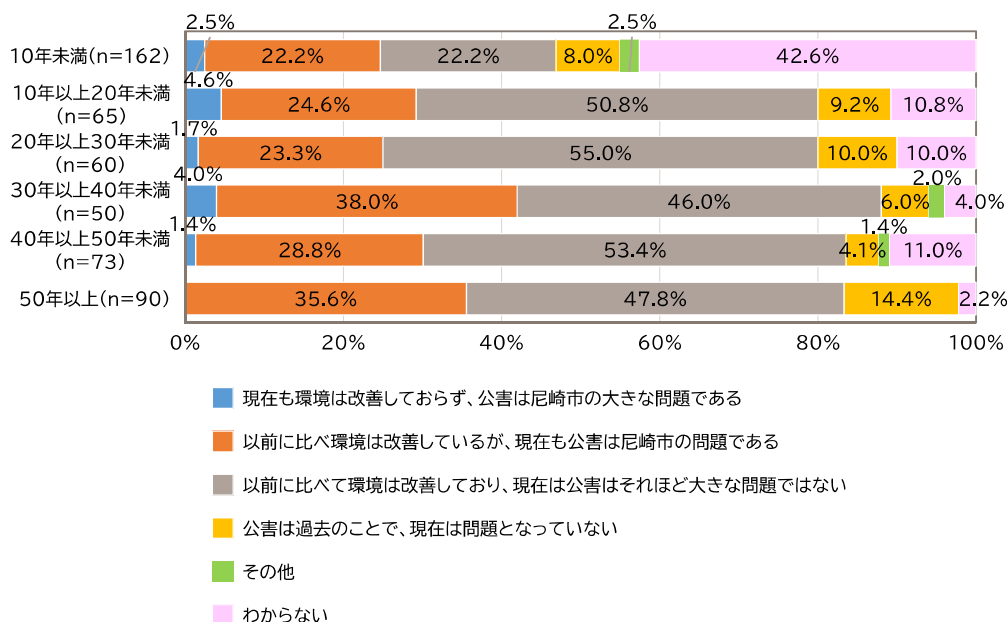
選択肢	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上	無回答・無効	回答数
現在も環境は改善しておらず、公害は尼崎市の大きな問題である	1	2	3	4	0	1	0	11
以前に比べ環境は改善しているが、現在も公害は尼崎市の問題である	16	17	25	29	29	23	0	139
以前に比べて環境は改善しており、現在は公害はそれほど大きな問題ではない	15	16	37	52	34	54	0	208
公害は過去のことで、現在は問題となっていない	10	4	6	9	6	9	0	44
その他	0	3	2	0	0	1	0	6
わからない	43	19	13	7	6	7	0	95
無回答・無効	0	0	0	0	0	0	4	4
総計	85	61	86	101	75	95	4	507



□ 居住年数別

- ・居住年数別では、「以前に比べ環境は改善しているが、現在も公害は尼崎市の問題である」とする回答は30年以上40年未満で38.0%と最も高い割合を示し、10年未満では22.2%と最も低い割合となっています。
- ・「以前に比べて環境は改善しており、現在は公害はそれほど大きな問題ではない」とする回答は20年以上30年未満で55.0%と最も高い割合を示し、10年未満では22.2%と最も低い割合となっています
- ・「分からない」とする回答は10年未満で42.6%と最も高い割合を示しています。

選択肢	10年未満	10年以上20年未満	20年以上30年未満	30年以上40年未満	40年以上50年未満	50年以上	無回答・無効	回答数
現在も環境は改善しておらず、公害は尼崎市の大きな問題である	4	3	1	2	1	0	0	11
以前に比べ環境は改善しているが、現在も公害は尼崎市の問題である	36	16	14	19	21	32	1	139
以前に比べて環境は改善しており、現在は公害はそれほど大きな問題ではない	36	33	33	23	39	43	1	208
公害は過去のことで、現在は問題となっていない	13	6	6	3	3	13	0	44
その他	4	0	0	1	1	0	0	6
わからない	69	7	6	2	8	2	1	95
無回答・無効	0	0	0	0	0	0	4	4
総計	162	65	60	50	73	90	7	507



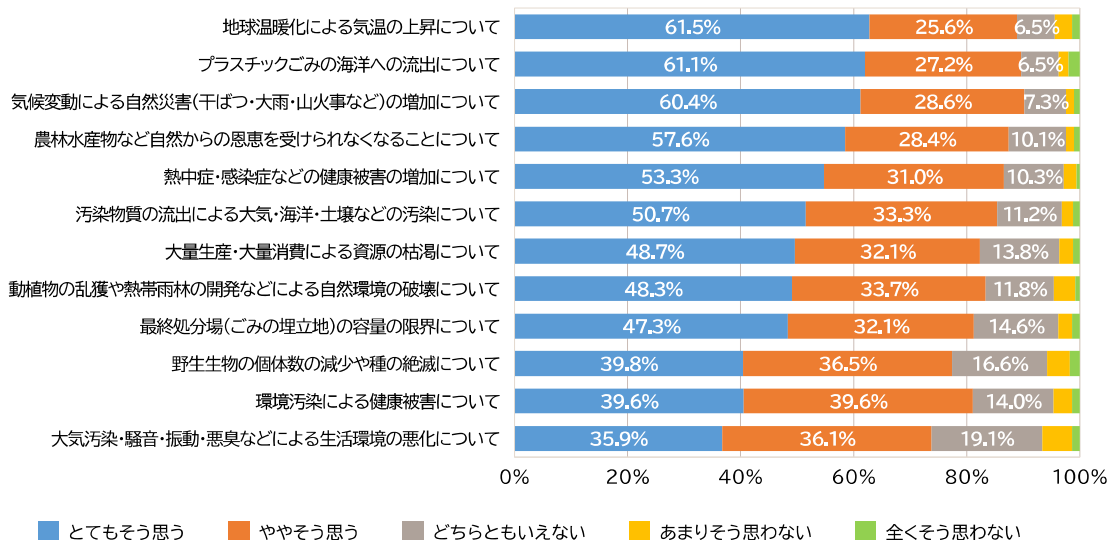
5 環境問題に対する考え

問10 環境問題に対する考え

1. 環境リスク認知（その影響は深刻なものだと思う）の状況

・「とてもそう思う」とする回答は「地球温暖化による気温の上昇について」の61.5%で最も多く、ついで「プラスチックごみの海洋への流出について」の61.1%、「気候変動による自然災害（干ばつ・大雨・山火事など）の増加について」の60.4%となっています。一方、「とてもそう思う」とする回答が少ないものは「大気汚染・騒音・振動・悪臭などによる生活環境の悪化について」が35.9%、「環境汚染による健康被害について」が39.6%となっています。

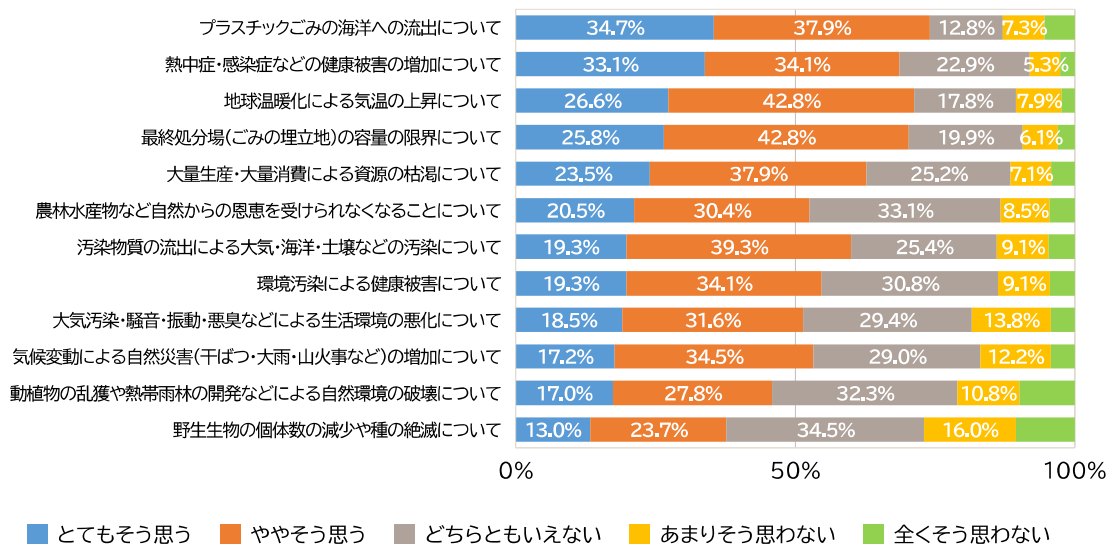
	とてもそう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない
地球温暖化による気温の上昇について	61.5%	25.6%	6.5%	3.0%	1.4%
プラスチックごみの海洋への流出について	61.1%	27.2%	6.5%	1.8%	2.0%
気候変動による自然災害（干ばつ・大雨・山火事など）の増加について	60.4%	28.6%	7.3%	1.4%	1.0%
農林水産物など自然からの恩恵を受けられなくなることについて	57.6%	28.4%	10.1%	1.4%	1.0%
熱中症・感染症などの健康被害の増加について	53.3%	31.0%	10.3%	2.2%	0.6%
汚染物質の流出による大気・海洋・土壌などの汚染について	50.7%	33.3%	11.2%	2.0%	1.2%
大量生産・大量消費による資源の枯渇について	48.7%	32.1%	13.8%	2.4%	1.2%
動植物の乱獲や熱帯雨林の開発などによる自然環境の破壊について	48.3%	33.7%	11.8%	3.7%	0.8%
最終処分場（ごみの埋立地）の容量の限界について	47.3%	32.1%	14.6%	2.4%	1.4%
野生生物の個体数の減少や種の絶滅について	39.8%	36.5%	16.6%	3.9%	1.8%
環境汚染による健康被害について	39.6%	39.6%	14.0%	3.2%	1.4%
大気汚染・騒音・振動・悪臭などによる生活環境の悪化について	35.9%	36.1%	19.1%	5.1%	1.4%



2. 責任帰属認知（自分自身の意識や行動にも責任があると思う）の状況

・「とてもそう思う」とする回答は「プラスチックごみの海洋への流出について」の34.7%で最も多く、ついで「熱中症・感染症などの健康被害の増加について」の33.1%、「地球温暖化による気温の上昇について」の26.6%となっています。一方、「とてもそう思う」とする回答が少ないものは「野生生物の個体数の減少や種の絶滅について」が13.0%、「動植物の乱獲や熱帯雨林の開発などによる自然環境の破壊について」が17.0%となっています。

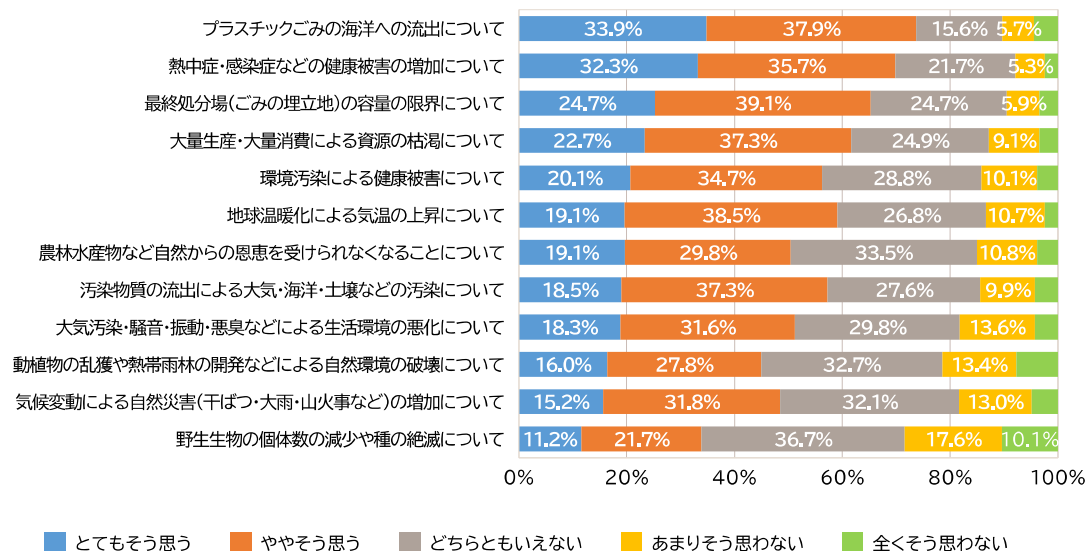
	とてもそう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない
プラスチックごみの海洋への流出について	34.7%	37.9%	12.8%	7.3%	5.3%
熱中症・感染症などの健康被害の増加について	33.1%	34.1%	22.9%	5.3%	2.6%
地球温暖化による気温の上昇について	26.6%	42.8%	17.8%	7.9%	2.4%
最終処分場(ごみの埋立地)の容量の限界について	25.8%	42.8%	19.9%	6.1%	3.0%
大量生産・大量消費による資源の枯渇について	23.5%	37.9%	25.2%	7.1%	4.1%
農林水産物など自然からの恩恵を受けられなくなることについて	20.5%	30.4%	33.1%	8.5%	4.3%
汚染物質の流出による大気・海洋・土壌などの汚染について	19.3%	39.3%	25.4%	9.1%	4.5%
環境汚染による健康被害について	19.3%	34.1%	30.8%	9.1%	4.3%
大気汚染・騒音・振動・悪臭などによる生活環境の悪化について	18.5%	31.6%	29.4%	13.8%	4.1%
気候変動による自然災害(干ばつ・大雨・山火事など)の増加について	17.2%	34.5%	29.0%	12.2%	4.1%
動植物の乱獲や熱帯雨林の開発などによる自然環境の破壊について	17.0%	27.8%	32.3%	10.8%	9.7%
野生生物の個体数の減少や種の絶滅について	13.0%	23.7%	34.5%	16.0%	10.3%



3. 対処有効性認知（自分自身の意識や行動が解決につながると思う）の状況

・「とてもそう思う」とする回答は「プラスチックごみの海洋への流出について」の33.9%で最も多く、ついで「熱中症・感染症などの健康被害の増加について」の32.3%、「最終処分場（ごみの埋立地）の容量の限界について」の24.7%となっています。一方、「とてもそう思う」とする回答が少ないものは「野生生物の個体数の減少や種の絶滅について」が11.2%、「気候変動による自然災害（干ばつ・大雨・山火事など）の増加について」が15.2%となっています。

	とてもそう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない
プラスチックごみの海洋への流出について	33.9%	37.9%	15.6%	5.7%	4.3%
熱中症・感染症などの健康被害の増加について	32.3%	35.7%	21.7%	5.3%	2.4%
最終処分場（ごみの埋立地）の容量の限界について	24.7%	39.1%	24.7%	5.9%	3.4%
大量生産・大量消費による資源の枯渇について	22.7%	37.3%	24.9%	9.1%	3.4%
環境汚染による健康被害について	20.1%	34.7%	28.8%	10.1%	3.7%
地球温暖化による気温の上昇について	19.1%	38.5%	26.8%	10.7%	2.4%
農林水産物など自然からの恩恵を受けられなくなるについて	19.1%	29.8%	33.5%	10.8%	3.7%
汚染物質の流出による大気・海洋・土壌などの汚染について	18.5%	37.3%	27.6%	9.9%	4.1%
大気汚染・騒音・振動・悪臭などによる生活環境の悪化について	18.3%	31.6%	29.8%	13.6%	4.1%
動植物の乱獲や熱帯雨林の開発などによる自然環境の破壊について	16.0%	27.8%	32.7%	13.4%	7.5%
気候変動による自然災害（干ばつ・大雨・山火事など）の増加について	15.2%	31.8%	32.1%	13.0%	4.7%
野生生物の個体数の減少や種の絶滅について	11.2%	21.7%	36.7%	17.6%	10.1%



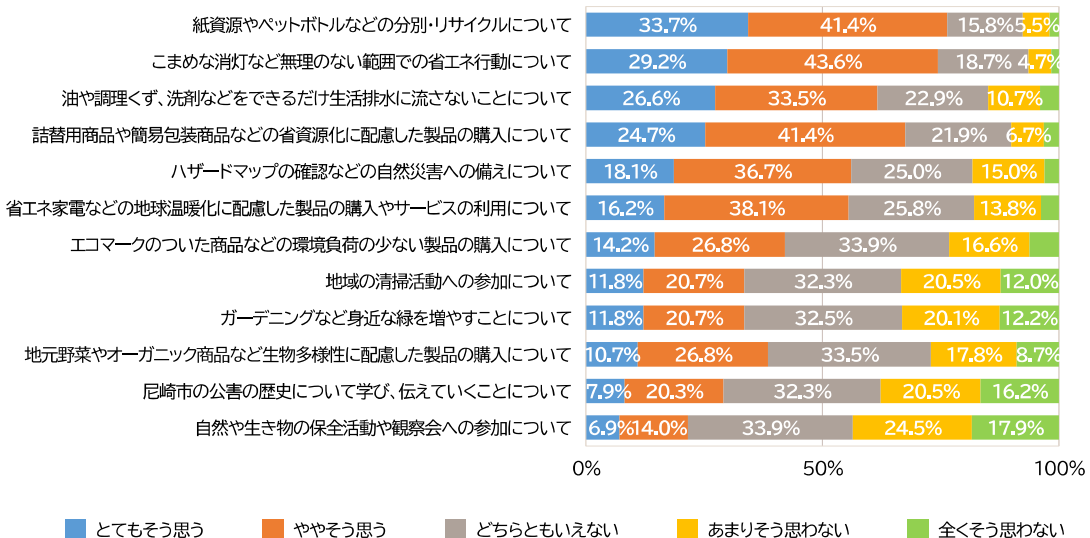
6 環境配慮行動に対する考え

問11 環境配慮行動に対する考え

1. 実行可能性評価（行動するための知識や情報がある）の状況

・「とてもそう思う」とする回答は「紙資源やペットボトルなどの分別・リサイクルについて」の33.7%で最も多く、ついで「こまめな消灯など無理のない範囲での省エネ行動について」の29.2%、「油や調理くず、洗剤などをできるだけ生活排水に流さないことについて」の26.6%となっています。一方、「とてもそう思う」とする回答が少ないものは「自然や生き物の保全活動や観察会への参加について」が6.9%、「尼崎市の公害の歴史について学び、伝えていくことについて」が7.9%となっています。

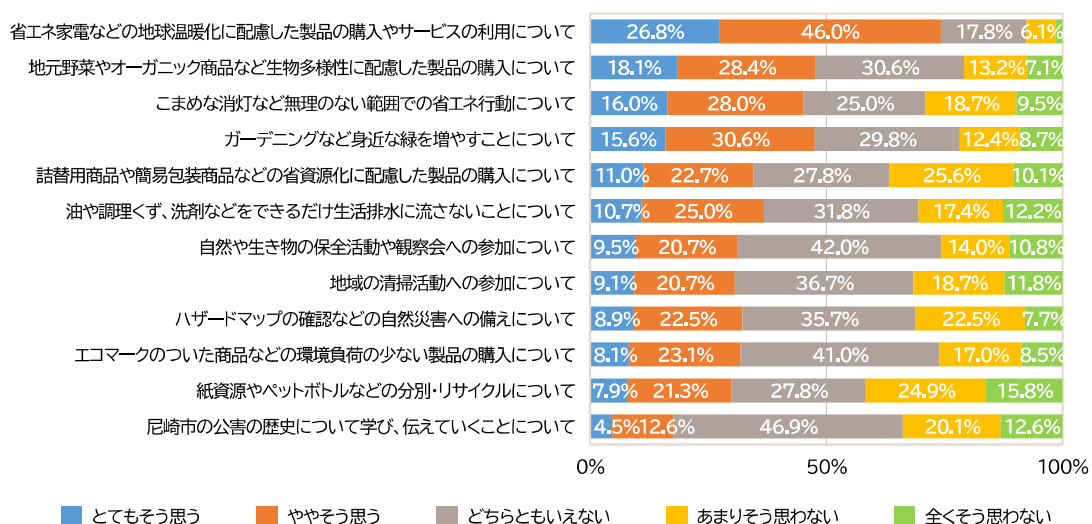
	とてもそう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない
紙資源やペットボトルなどの分別・リサイクルについて	33.7%	41.4%	15.8%	5.5%	2.0%
こまめな消灯など無理のない範囲での省エネ行動について	29.2%	43.6%	18.7%	4.7%	1.6%
油や調理くず、洗剤などをできるだけ生活排水に流さないことについて	26.6%	33.5%	22.9%	10.7%	3.9%
詰替用商品や簡易包装商品などの省資源化に配慮した製品の購入について	24.7%	41.4%	21.9%	6.7%	3.2%
ハザードマップの確認などの自然災害への備えについて	18.1%	36.7%	25.0%	15.0%	3.0%
省エネ家電などの地球温暖化に配慮した製品の購入やサービスの利用について	16.2%	38.1%	25.8%	13.8%	3.7%
エコマークのついた商品などの環境負荷の少ない製品の購入について	14.2%	26.8%	33.9%	16.6%	6.1%
地域の清掃活動への参加について	11.8%	20.7%	32.3%	20.5%	12.0%
ガーデニングなど身近な緑を増やすことについて	11.8%	20.7%	32.5%	20.1%	12.2%
地元野菜やオーガニック商品など生物多様性に配慮した製品の購入について	10.7%	26.8%	33.5%	17.8%	8.7%
尼崎市の公害の歴史について学び、伝えていくことについて	7.9%	20.3%	32.3%	20.5%	16.2%
自然や生き物の保全活動や観察会への参加について	6.9%	14.0%	33.9%	24.5%	17.9%



2. 便益・費用評価（行動する際に不便があったり、費用面での負担がある）の状況

・「とてもそう思う」とする回答は「省エネ家電などの地球温暖化に配慮した製品の購入やサービスの利用について」の26.8%で最も多く、ついで「地元野菜やオーガニック商品など生物多様性に配慮した製品の購入について」の18.1%、「こまめな消灯など無理のない範囲での省エネ行動について」の16.0%となっています。一方、「とてもそう思う」とする回答が少ないものは「尼崎市の公害の歴史について学び、伝えていくことについて」が4.5%、「紙資源やペットボトルなどの分別・リサイクルについて」が7.9%となっています。

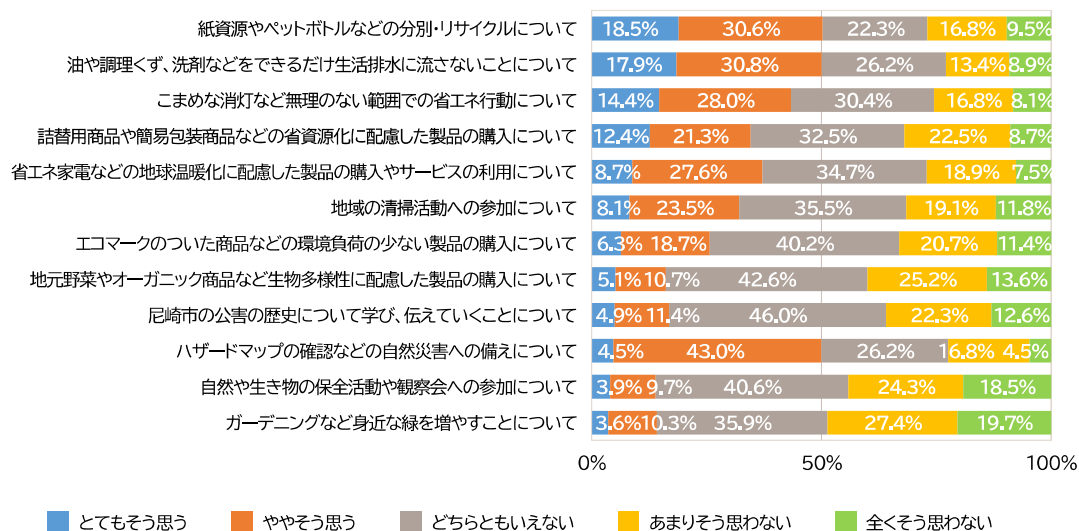
	とてもそう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない
省エネ家電などの地球温暖化に配慮した製品の購入やサービスの利用について	26.8%	46.0%	17.8%	6.1%	1.4%
地元野菜やオーガニック商品など生物多様性に配慮した製品の購入について	18.1%	28.4%	30.6%	13.2%	7.1%
こまめな消灯など無理のない範囲での省エネ行動について	16.0%	28.0%	25.0%	18.7%	9.5%
ガーデニングなど身近な緑を増やすことについて	15.6%	30.6%	29.8%	12.4%	8.7%
詰替用商品や簡易包装商品などの省資源化に配慮した製品の購入について	11.0%	22.7%	27.8%	25.6%	10.1%
油や調理くず、洗剤などをできるだけ生活排水に流さないことについて	10.7%	25.0%	31.8%	17.4%	12.2%
自然や生き物の保全活動や観察会への参加について	9.5%	20.7%	42.0%	14.0%	10.8%
地域の清掃活動への参加について	9.1%	20.7%	36.7%	18.7%	11.8%
ハザードマップの確認などの自然災害への備えについて	8.9%	22.5%	35.7%	22.5%	7.7%
エコマークのついた商品などの環境負荷の少ない製品の購入について	8.1%	23.1%	41.0%	17.0%	8.5%
紙資源やペットボトルなどの分別・リサイクルについて	7.9%	21.3%	27.8%	24.9%	15.8%
尼崎市の公害の歴史について学び、伝えていくことについて	4.5%	12.6%	46.9%	20.1%	12.6%



3. 社会規範評価（取り組まないと後ろめたさを感じる）の状況

・「とてもそう思う」とする回答は「紙資源やペットボトルなどの分別・リサイクルについて」の18.5%で最も多く、ついで「油や調理くず、洗剤などをできるだけ生活排水に流さないことについて」の17.9%、「こまめな消灯など無理のない範囲での省エネ行動について」の14.4%となっています。一方、「とてもそう思う」とする回答が少ないものは「ガーデニングなど身近な緑を増やすことについて」が3.6%、「自然や生き物の保全活動や観察会への参加について」が3.9%となっています。

	とてもそう 思う	ややそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない
紙資源やペットボトルなどの分別・リサイクルについて	18.5%	30.6%	22.3%	16.8%	9.5%
油や調理くず、洗剤などをできるだけ生活排水に流さないことについて	17.9%	30.8%	26.2%	13.4%	8.9%
こまめな消灯など無理のない範囲での省エネ行動について	14.4%	28.0%	30.4%	16.8%	8.1%
詰替用商品や簡易包装商品などの省資源化に配慮した製品の購入について	12.4%	21.3%	32.5%	22.5%	8.7%
省エネ家電などの地球温暖化に配慮した製品の購入やサービスの利用について	8.7%	27.6%	34.7%	18.9%	7.5%
地域の清掃活動への参加について	8.1%	23.5%	35.5%	19.1%	11.8%
エコマークのついた商品などの環境負荷の少ない製品の購入について	6.3%	18.7%	40.2%	20.7%	11.4%
地元野菜やオーガニック商品など生物多様性に配慮した製品の購入について	5.1%	10.7%	42.6%	25.2%	13.6%
尼崎市の公害の歴史について学び、伝えていくことについて	4.9%	11.4%	46.0%	22.3%	12.6%
ハザードマップの確認などの自然災害への備えについて	4.5%	43.0%	26.2%	16.8%	4.5%
自然や生き物の保全活動や観察会への参加について	3.9%	9.7%	40.6%	24.3%	18.5%
ガーデニングなど身近な緑を増やすことについて	3.6%	10.3%	35.9%	27.4%	19.7%

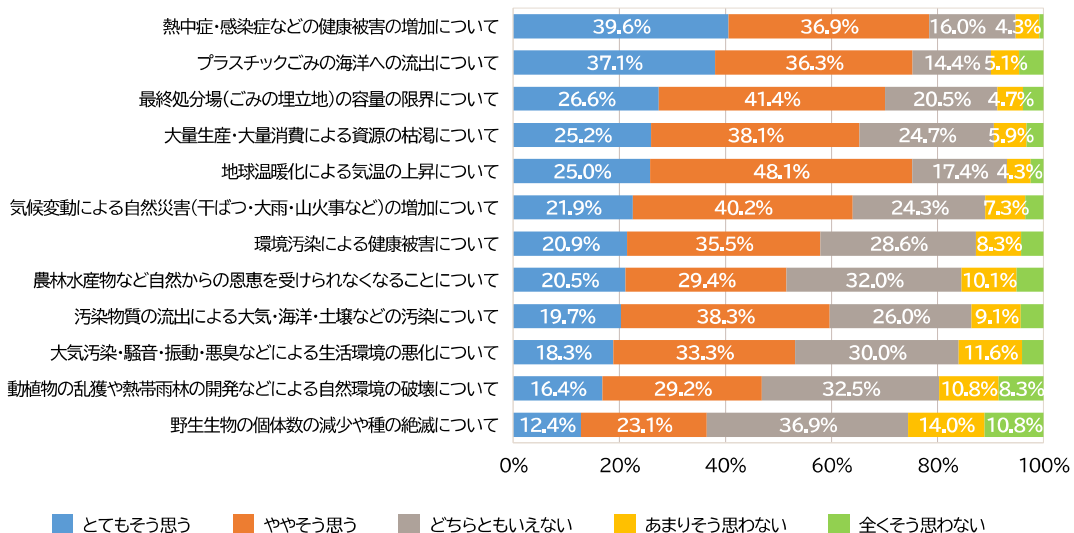


7 行動意図及び目標意図

1. 目標意図（自分自身も何らかの対策を行う必要があると思う）の状況

・「とてもそう思う」とする回答は「熱中症・感染症などの健康被害の増加について」の39.6%で最も多く、ついで「プラスチックごみの海洋への流出について」の37.1%、「最終処分場（ごみの埋立地）の容量の限界について」の26.6%となっています。一方、「とてもそう思う」とする回答が少ないものは「野生生物の個体数の減少や種の絶滅について」が12.4%、「動植物の乱獲や熱帯雨林の開発などによる自然環境の破壊について」が16.4%となっています。

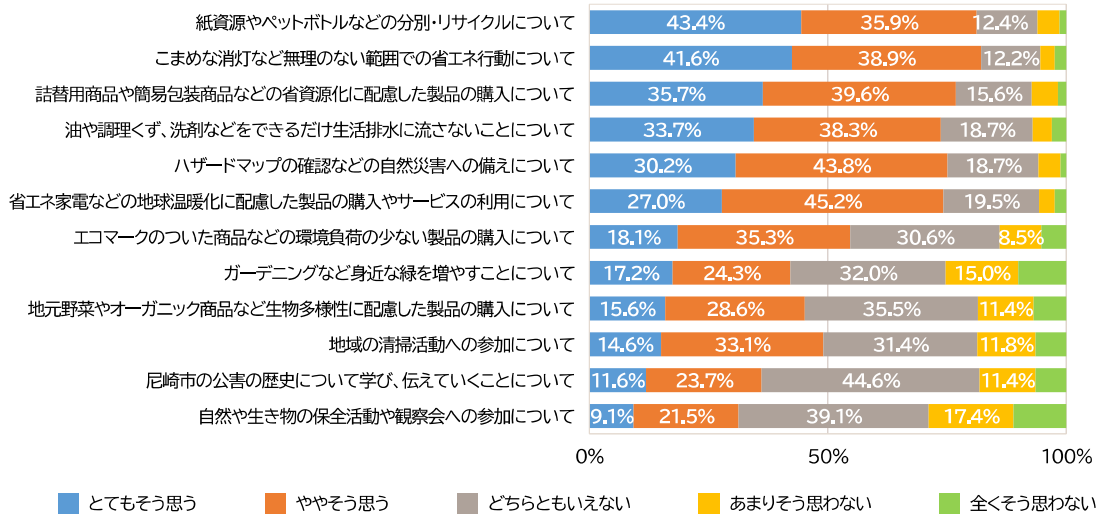
	とてもそう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない
熱中症・感染症などの健康被害の増加について	39.6%	36.9%	16.0%	4.3%	0.8%
プラスチックごみの海洋への流出について	37.1%	36.3%	14.4%	5.1%	4.5%
最終処分場（ごみの埋立地）の容量の限界について	26.6%	41.4%	20.5%	4.7%	3.7%
大量生産・大量消費による資源の枯渇について	25.2%	38.1%	24.7%	5.9%	3.2%
地球温暖化による気温の上昇について	25.0%	48.1%	17.4%	4.3%	2.4%
気候変動による自然災害（干ばつ・大雨・山火事など）の増加について	21.9%	40.2%	24.3%	7.3%	3.4%
環境汚染による健康被害について	20.9%	35.5%	28.6%	8.3%	4.1%
農林水産物など自然からの恩恵を受けられなくなるについて	20.5%	29.4%	32.0%	10.1%	4.9%
汚染物質の流出による大気・海洋・土壌などの汚染について	19.7%	38.3%	26.0%	9.1%	4.1%
大気汚染・騒音・振動・悪臭などによる生活環境の悪化について	18.3%	33.3%	30.0%	11.6%	3.9%
動植物の乱獲や熱帯雨林の開発などによる自然環境の破壊について	16.4%	29.2%	32.5%	10.8%	8.3%
野生生物の個体数の減少や種の絶滅について	12.4%	23.1%	36.9%	14.0%	10.8%



2. 行動意図（取り組みたいと思う）の状況

・「とてもそう思う」とする回答は「紙資源やペットボトルなどの分別・リサイクルについて」の43.4%で最も多く、ついで「こまめな消灯など無理のない範囲での省エネ行動について」の41.6%、「詰替用商品や簡易包装商品などの省資源化に配慮した製品の購入について」の35.7%となっています。一方、「とてもそう思う」とする回答が少ないものは「自然や生き物の保全活動や観察会への参加について」が9.1%、「尼崎市の公害の歴史について学び、伝えていくことについて」が11.6%となっています。

	とてもそう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない
紙資源やペットボトルなどの分別・リサイクルについて	43.4%	35.9%	12.4%	4.5%	1.4%
こまめな消灯など無理のない範囲での省エネ行動について	41.6%	38.9%	12.2%	3.0%	2.4%
詰替用商品や簡易包装商品などの省資源化に配慮した製品の購入について	35.7%	39.6%	15.6%	5.3%	1.8%
油や調理くず、洗剤などをできるだけ生活排水に流さないことについて	33.7%	38.3%	18.7%	3.9%	3.0%
ハザードマップの確認などの自然災害への備えについて	30.2%	43.8%	18.7%	4.5%	1.2%
省エネ家電などの地球温暖化に配慮した製品の購入やサービスの利用について	27.0%	45.2%	19.5%	3.2%	2.4%
エコマークのついた商品などの環境負荷の少ない製品の購入について	18.1%	35.3%	30.6%	8.5%	5.1%
ガーデニングなど身近な緑を増やすことについて	17.2%	24.3%	32.0%	15.0%	9.9%
地元野菜やオーガニック商品など生物多様性に配慮した製品の購入について	15.6%	28.6%	35.5%	11.4%	6.7%
地域の清掃活動への参加について	14.6%	33.1%	31.4%	11.8%	6.3%
尼崎市の公害の歴史について学び、伝えていくことについて	11.6%	23.7%	44.6%	11.4%	6.3%
自然や生き物の保全活動や観察会への参加について	9.1%	21.5%	39.1%	17.4%	10.8%

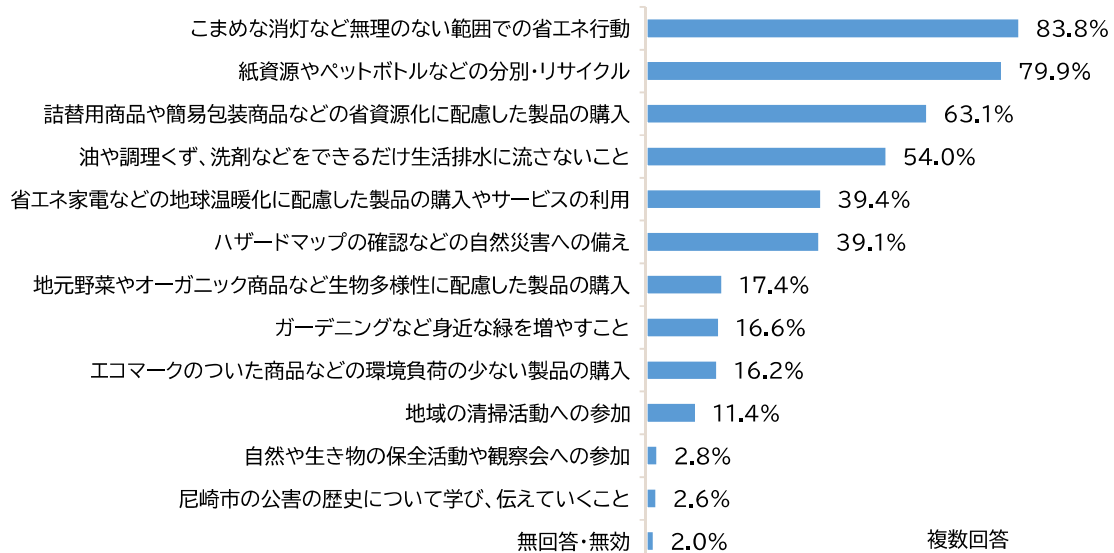


8 環境問題に対する取組み状況など

問12 あなたが現在取り組んでいることについて、あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- ・「こまめな消灯など無理のない範囲での省エネ行動」とする回答が83.8%と最も多く、ついで、「紙資源やペットボトルなどの分別・リサイクル」が79.9%、「詰替用商品や簡易包装商品などの省資源化に配慮した製品の購入」が63.1%となっています。

選択肢	合計	割合
省エネ家電などの地球温暖化に配慮した製品の購入やサービスの利用について	200	39.4%
こまめな消灯など無理のない範囲での省エネ行動について	425	83.8%
ハザードマップの確認などの自然災害への備えについて	198	39.1%
詰替用商品や簡易包装商品などの省資源化に配慮した製品の購入について	320	63.1%
紙資源やペットボトルなどの分別・リサイクルについて	405	79.9%
地域の清掃活動への参加について	58	11.4%
エコマークのついた商品などの環境負荷の少ない製品の購入について	82	16.2%
油や調理くず、洗剤などをできるだけ生活排水に流さないことについて	274	54.0%
尼崎市の公害の歴史について学び、伝えていくことについて	13	2.6%
地元野菜やオーガニック商品など生物多様性に配慮した製品の購入について	88	17.4%
ガーデニングなど身近な緑を増やすことについて	84	16.6%
自然や生き物の保全活動や観察会への参加について	14	2.8%
無回答・無効	10	2.0%
回答数	507	100.0%

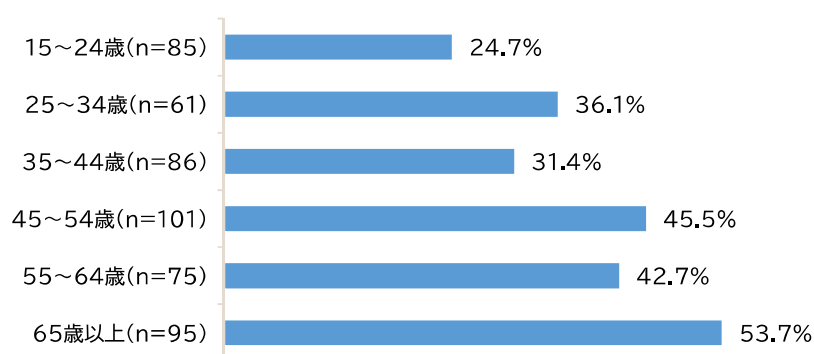


1. 省エネ家電などの地球温暖化に配慮した製品の購入やサービスの利用

□ 年齢別

- ・「取り組んでいる」とする回答は、65歳以上で53.7%と最も高い割合を示し、15～24歳では24.7%と最も低い割合になっています。

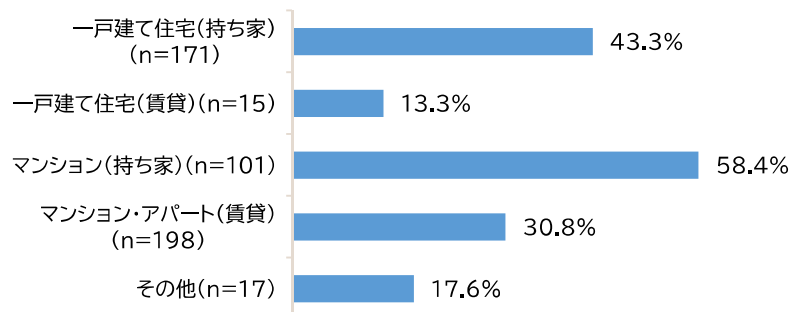
選択肢	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上	無回答・無効	回答数
取り組んでいる	21	22	27	46	32	51	1	200
総計	85	61	86	101	75	95	4	507



□ 住居形態別

- ・「取り組んでいる」とする回答は、マンション（持ち家）で58.4%と最も高い割合を示し、一戸建て住宅（賃貸）では13.3%と最も低い割合になっています。

選択肢	一戸建て住宅（持ち家）	一戸建て住宅（賃貸）	マンション（持ち家）	マンション・アパート（賃貸）	その他	無回答・無効	回答数
取り組んでいる	74	2	59	61	3	1	200
総計	171	15	101	198	17	5	507



2. こまめな消灯など無理のない範囲での省エネ行動

□ 年齢別

- ・「取り組んでいる」とする回答は、65歳以上で93.7%と最も高い割合を示し、15～24歳では76.5%と最も低い割合になっています。

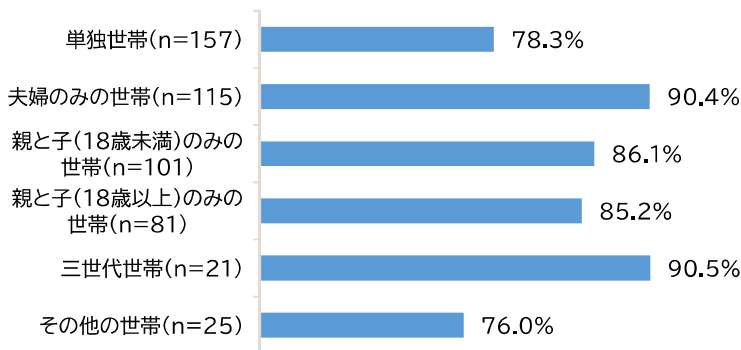
選択肢	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上	無回答・無効	回答数
取り組んでいる	65	49	72	86	63	89	1	425
総計	85	61	86	101	75	95	4	507



□ 世帯構成別

- ・「取り組んでいる」とする回答は、三世帯世帯で90.5%と最も高い割合を示し、単独世帯では78.3%と最も低い割合になっています。（その他の世帯を除く）

選択肢	単独世帯	夫婦のみの世帯	親と子(18歳未満)のみの世帯	親と子(18歳以上)のみの世帯	三世帯世帯	その他の世帯	無回答・無効	回答数
取り組んでいる	123	104	87	69	19	19	4	425
総計	157	115	101	81	21	25	7	507

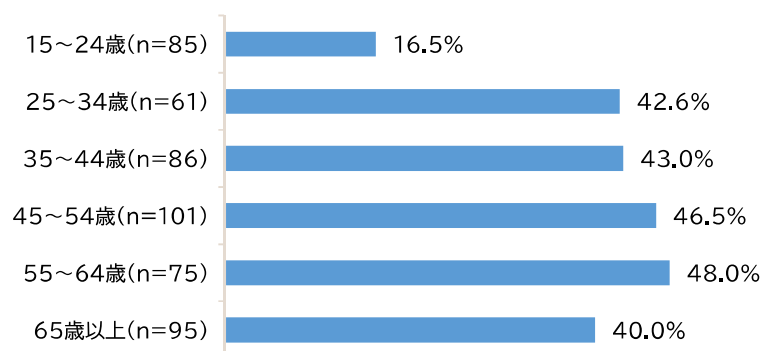


3. ハザードマップの確認などの自然災害への備え

□ 年齢別

・「取り組んでいる」とする回答は、55～64歳で48.0%と最も高い割合を示し、15～24歳では16.5%と最も低い割合になっています。

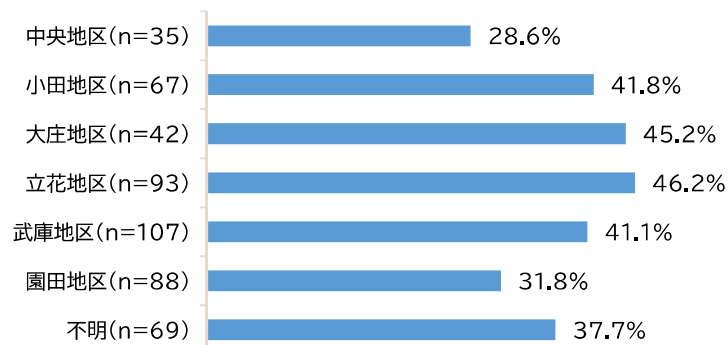
選択肢	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上	無回答・無効	回答数
取り組んでいる	14	26	37	47	36	38	0	198
総計	85	61	86	101	75	95	4	507



□ 居住地区別

・「取り組んでいる」とする回答は、立花地区で46.2%と最も高い割合を示し、中央地区では28.6%と最も低い割合になっています。

選択肢	中央地区	小田地区	大庄地区	立花地区	武庫地区	園田地区	不明	無回答・無効	回答数
取り組んでいる	10	28	19	43	44	28	26	0	198
総計	35	67	42	93	107	88	69	6	507

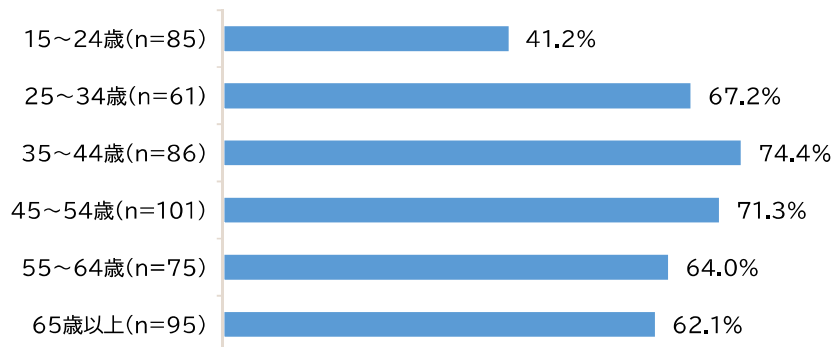


4. 詰替用商品や簡易包装商品などの省資源化に配慮した製品の購入

□ 年齢別

・「取り組んでいる」とする回答は、35～44歳で74.4%と最も高い割合を示し、15～24歳では41.2%と最も低い割合になっています。

選択肢	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上	無回答・無効	回答数
取り組んでいる	35	41	64	72	48	59	1	320
総計	85	61	86	101	75	95	4	507



□ 世帯構成別

・「取り組んでいる」とする回答は、夫婦のみ世帯で69.6%と最も高い割合を示し、単独世帯では57.3%と最も低い割合になっています。

選択肢	単独世帯	夫婦のみ世帯	親と子(18歳未満)のみの世帯	親と子(18歳以上)のみの世帯	三世帯世帯	その他の世帯	無回答・無効	回答数
取り組んでいる	90	80	69	51	14	15	1	320
総計	157	115	101	81	21	25	7	507



5. 紙資源やペットボトルなどの分別・リサイクル

□ 年齢別

・「取り組んでいる」とする回答は、65歳以上で94.7%と最も高い割合を示し、25～34歳では65.6%と最も低い割合になっています。

選択肢	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上	無回答・無効	回答数
取り組んでいる	60	40	68	87	59	90	1	405
総計	85	61	86	101	75	95	4	507



□ 居住年数別

・「取り組んでいる」とする回答は、40年以上50年未満で93.2%と最も高い割合を示し、10年未満では71.6%と最も低い割合になっています。

選択肢	10年未満	10年以上20年未満	20年以上30年未満	30年以上40年未満	40年以上50年未満	50年以上	無回答・無効	回答数
取り組んでいる	116	52	45	39	68	82	3	405
総計	162	65	60	50	73	90	7	507

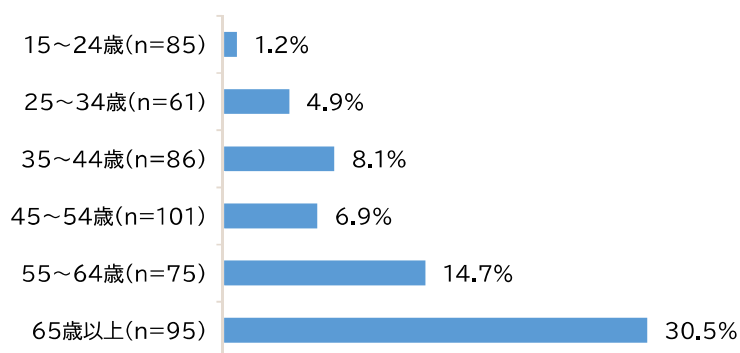


6. 地域の清掃活動への参加

□ 年齢別

- ・「取り組んでいる」とする回答は、65歳以上で30.5%と最も高い割合を示し、15～24歳では1.2%と最も低い割合になっています。

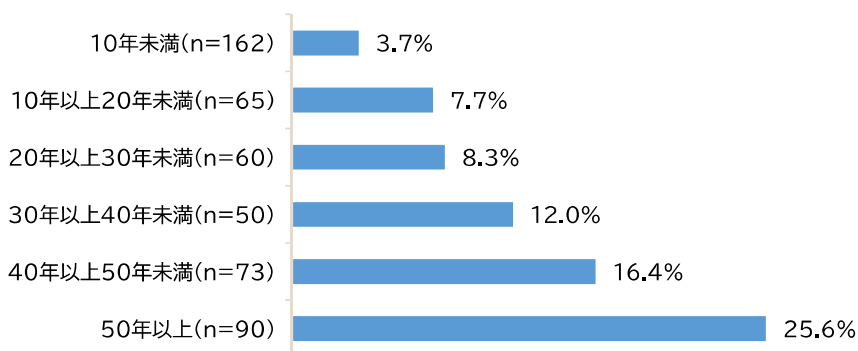
選択肢	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上	無回答・無効	回答数
取り組んでいる	1	3	7	7	11	29	0	58
総計	85	61	86	101	75	95	4	507



□ 居住年数別

- ・「取り組んでいる」とする回答は、50年以上で25.6%と最も高い割合を示し、10年未満では3.7%と最も低い割合になっています。

選択肢	10年未満	10年以上20年未満	20年以上30年未満	30年以上40年未満	40年以上50年未満	50年以上	無回答・無効	回答数
取り組んでいる	6	5	5	6	12	23	1	58
総計	162	65	60	50	73	90	7	507

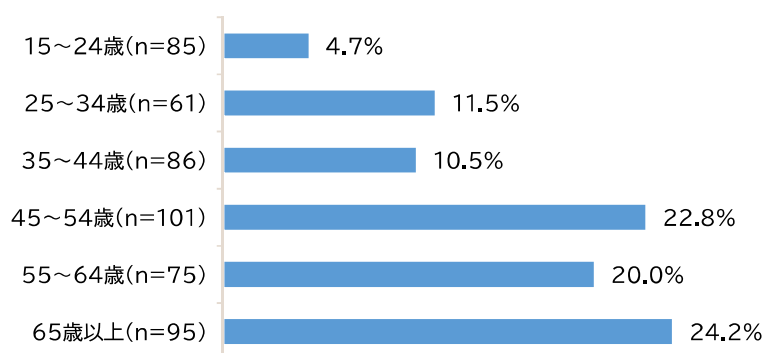


7. エコマークのついた商品などの環境負荷の少ない製品の購入

□ 年齢別

- ・「取り組んでいる」とする回答は、65歳以上で24.2%と最も高い割合を示し、15～24歳では4.7%と最も低い割合になっています。

選択肢	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上	無回答・無効	回答数
取り組んでいる	4	7	9	23	15	23	1	82
総計	85	61	86	101	75	95	4	507

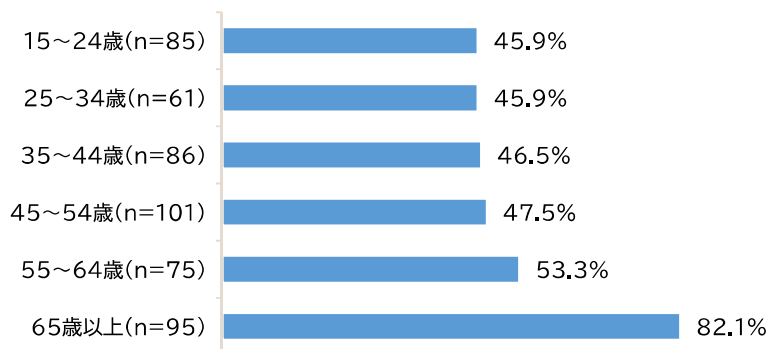


8. 油や調理くず、洗剤などをできるだけ生活排水に流さないこと

□ 年齢別

- ・「取り組んでいる」とする回答は、65歳以上で82.1%と最も高い割合を示し、15～24歳、25～34歳では45.9%と最も低い割合になっています。

選択肢	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上	無回答・無効	回答数
取り組んでいる	39	28	40	48	40	78	1	274
総計	85	61	86	101	75	95	4	507



□ 住居形態別

・「取り組んでいる」とする回答は、マンション（持ち家）で56.4%と最も高い割合を示し、一戸建て住宅（賃貸）では46.7%と最も低い割合になっています。（その他を除く）

選択肢	一戸建て住宅（持ち家）	一戸建て住宅（賃貸）	マンション（持ち家）	マンション・アパート（賃貸）	その他	無回答・無効	回答数
取り組んでいる	96	7	57	107	6	1	274
総計	171	15	101	198	17	5	507

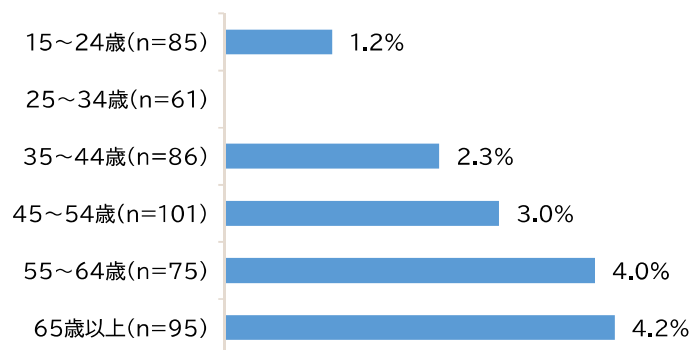


9. 尼崎市の公害の歴史について学び、伝えていくこと

□ 年齢別

・「取り組んでいる」とする回答は、65歳以上で4.2%と最も高い割合を示し、25～34歳では0%と最も低い値になっています。

選択肢	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上	無回答・無効	回答数
取り組んでいる	1	0	2	3	3	4	0	13
総計	85	61	86	101	75	95	4	507

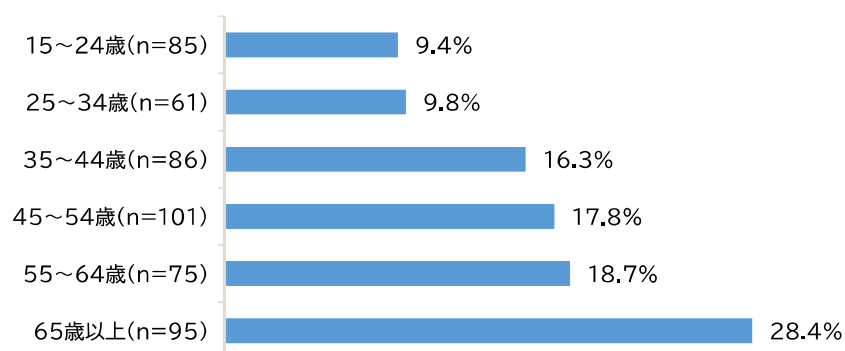


10. 地元野菜やオーガニック商品など生物多様性に配慮した製品の購入

□ 年齢別

- ・「取り組んでいる」とする回答は、65歳以上で28.4%と最も高い割合を示し、15～24歳では9.4%と最も低い割合になっています。

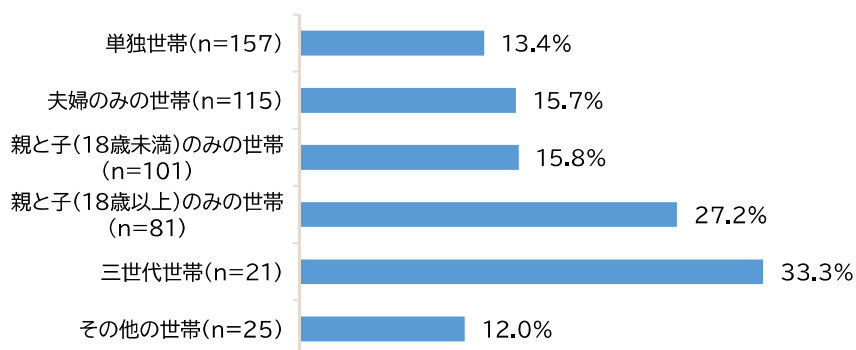
選択肢	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上	無回答・無効	回答数
取り組んでいる	8	6	14	18	14	27	1	88
総計	85	61	86	101	75	95	4	507



□ 世帯構成別

- ・「取り組んでいる」とする回答は、三世帯世帯で33.3%と最も高い割合を示し、単独世帯では13.4%と低い値になっています。（その他の世帯を除く）

選択肢	単独世帯	夫婦のみの世帯	親と子(18歳未満)のみの世帯	親と子(18歳以上)のみの世帯	三世帯世帯	その他の世帯	無回答・無効	回答数
取り組んでいる	21	18	16	22	7	3	1	88
総計	157	115	101	81	21	25	7	507

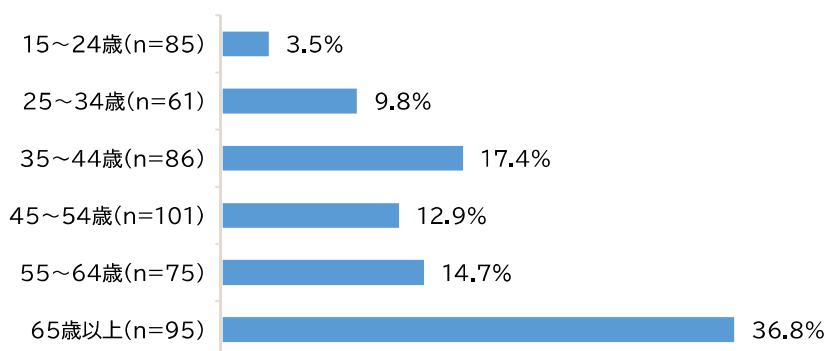


11. ガーデニングなど身近な緑を増やすこと

□ 年齢別

・「取り組んでいる」とする回答は、65歳以上で36.8%と最も高い割合を示し、15～24歳では3.5%と最も低い割合になっています。

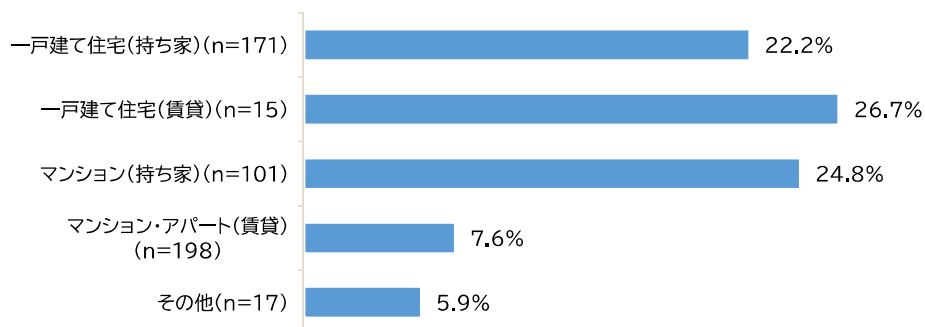
選択肢	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上	無回答・無効	回答数
取り組んでいる	3	6	15	13	11	35	1	84
総計	85	61	86	101	75	95	4	507



□ 住居形態別

・「取り組んでいる」とする回答は、一戸建て住宅（賃貸）で26.7%と最も高い割合を示し、マンション・アパート（賃貸）では7.6%と最も低い割合になっています。（その他を除く）

選択肢	一戸建て住宅（持ち家）	一戸建て住宅（賃貸）	マンション（持ち家）	マンション・アパート（賃貸）	その他	無回答・無効	回答数
取り組んでいる	38	4	25	15	1	1	84
総計	171	15	101	198	17	5	507

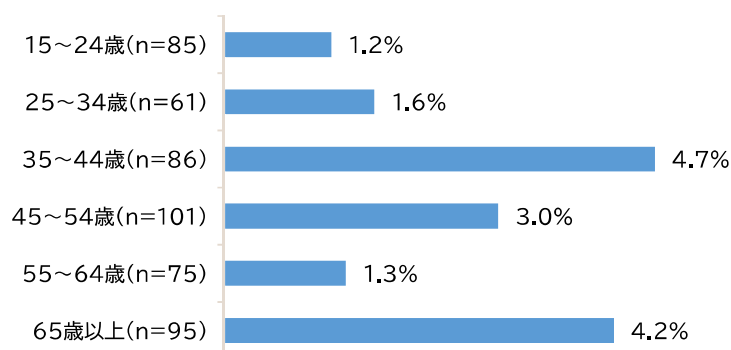


12. 自然や生き物の保全活動や観察会への参加

□ 年齢別

・「取り組んでいる」とする回答は、35～44歳で4.7%と他の世代より高く、15～24歳では1.2%と最も低い割合になっています。

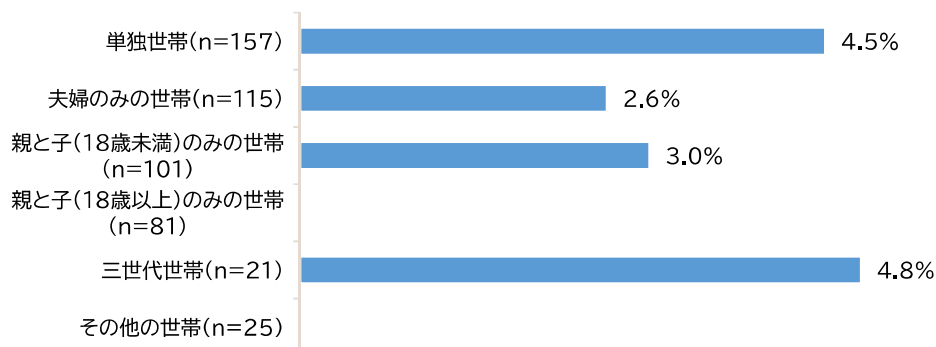
選択肢	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上	無回答・無効	回答数
取り組んでいる	1	1	4	3	1	4	0	14
総計	85	61	86	101	75	95	4	507



□ 世帯構成別

・「取り組んでいる」とする回答は、三世帯世帯で4.8%と他の世帯構成より高く、親と子(18歳以上)のみの世帯では0%と最も低い割合になっています。(その他の世帯を除く)

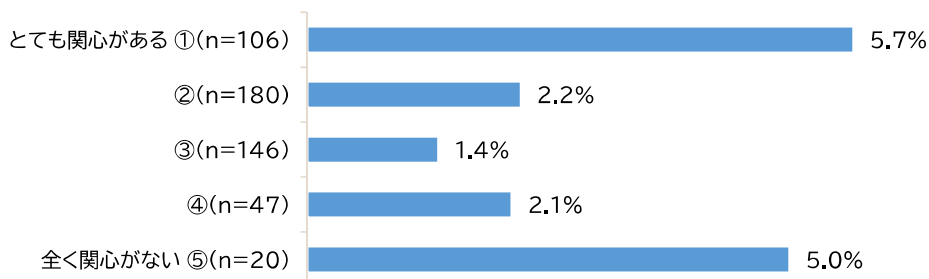
選択肢	単独世帯	夫婦のみの世帯	親と子(18歳未満)のみの世帯	親と子(18歳以上)のみの世帯	三世帯世帯	その他の世帯	無回答・無効	回答数
取り組んでいる	7	3	3	0	1	0	0	14
総計	157	115	101	81	21	25	7	507



□ 自然への関心度合い別

・「取り組んでいる」とする回答は、①とても関心があると答えたグループで5.7%と最も高い割合を示し、③では1.4%と最も低い割合になっています。

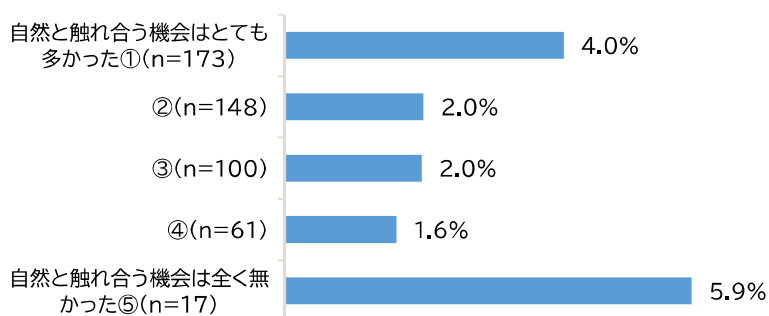
選択肢	①とても関心がある	②	③	④	⑤全く関心がない	無回答・無効	回答数
取り組んでいる	6	4	2	1	1	0	14
総計	106	180	146	47	20	8	507



□ 子どものころの自然体験の状況別

・「取り組んでいる」とする回答は、⑤自然と触れ合う機会は全くなかったと答えたグループで5.9%と最も高い割合を示し、④では1.6%と最も低い割合になっています。

選択肢	①自然と触れ合う機会はとても多かった	②	③	④	⑤自然と触れ合う機会は全く無かった	無回答・無効	回答数
取り組んでいる	7	3	2	1	1	0	14
総計	173	148	100	61	17	8	507



問12 年齢別の取組み状況 総括

- ・環境配慮行動の項目別にみると、「取り組んでいる」と答えるのは65歳以上が他の年齢層に比べて高い割合を示す傾向が見られました。
- ・しかし、「3. ハザードマップの確認などの自然災害への備え」や「4. 詰替用商品や簡易包装商品などの省資源化に配慮した製品の購入」を行っているという割合は他の年齢層より低くなっています。
- ・一方で、15歳から34歳の年齢層では、「取り組んでいる」と答える割合が他の年齢層に比べて低くなっています。

	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上
1. 省エネ家電などの地球温暖化に配慮した製品の購入やサービスの利用	25%	36%	31%	46%	43%	54%
2. こまめな消灯など無理のない範囲での省エネ行動	76%	80%	84%	85%	84%	94%
3. ハザードマップの確認などの自然災害への備え	16%	43%	43%	47%	48%	40%
4. 詰替用商品や簡易包装商品などの省資源化に配慮した製品の購入	41%	67%	74%	71%	64%	62%
5. 紙資源やペットボトルなどの分別・リサイクル	71%	66%	79%	86%	79%	95%
6. 地域の清掃活動への参加	1%	5%	8%	7%	15%	31%
7. エコマークのついた商品などの環境負荷の少ない製品の購入	5%	11%	10%	23%	20%	24%
8. 油や調理くず、洗剤などをできるだけ生活排水に流さないこと	46%	46%	47%	48%	53%	82%
9. 尼崎市の公害の歴史について学び、伝えていくこと	1%	0%	2%	3%	4%	4%
10. 地元野菜やオーガニック商品など生物多様性に配慮した製品の購入	9%	10%	16%	18%	19%	28%
11. ガーデニングなど身近な緑を増やすこと	4%	10%	17%	13%	15%	37%
12. 自然や生き物の保全活動や観察会への参加	1%	2%	5%	3%	1%	4%

青色・・・各取り組みの中で高い取り組みを示す年齢層（上位2位）

赤色・・・各取り組みの中で低い取り組みを示す年齢層（下位2位）

「問 12 環境問題に対する取組み状況」と「問 11 実行可能性評価・便益費用評価・社会規範評価」のクロス集計

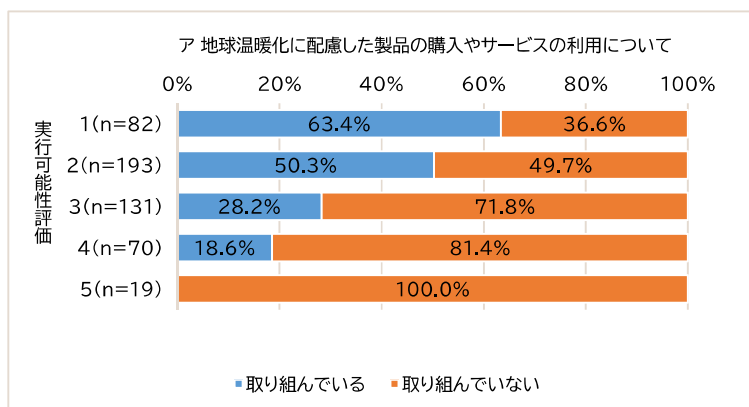
ここでは、「問12環境問題に対する取組み状況」と「問11実行可能性評価・便益費用評価・社会規範評価」のクロス集計を行い、実行可能性評価・便益費用評価・社会規範評価それぞれが環境行動に与える影響について検討しました。

1. 省エネ家電などの地球温暖化に配慮した製品の購入やサービスの利用

・省エネ家電などの地球温暖化に配慮した製品の購入やサービスの利用は、実行可能性評価が高い場合に、取り組んでいると答える割合が高くなっています。

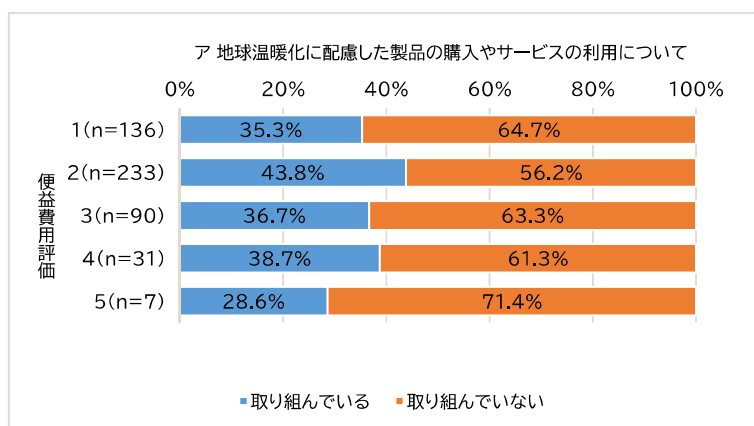
□（問11-ア-①）行動するための知識や情報の有無（実行可能性評価）

選択肢	1	2	3	4	5	-	総計
取り組んでいる	52	97	37	13	0	1	200
総計	82	193	131	70	19	12	507



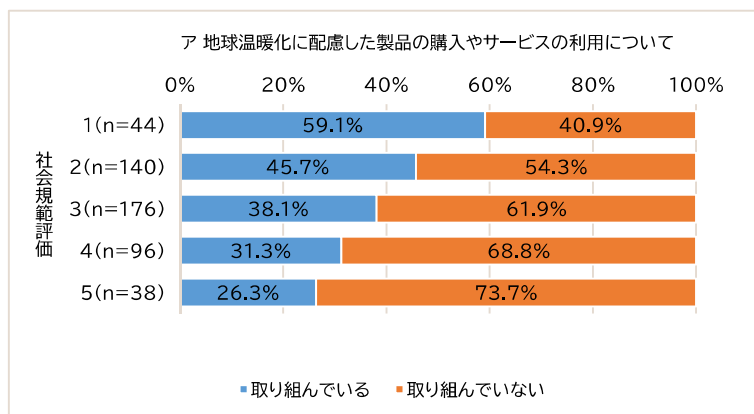
□（問11-ア-②）行動する際の不便、費用面での負担（便益費用評価）

選択肢	1	2	3	4	5	-	総計
取り組んでいる	48	102	33	12	2	3	200
総計	136	233	90	31	7	10	507



□ (問11-ア-③) 取り組まないと後ろめたさを感じる (社会規範評価)

選択肢	1	2	3	4	5	-	総計
取り組んでいる	26	64	67	30	10	3	200
総計	44	140	176	96	38	13	507

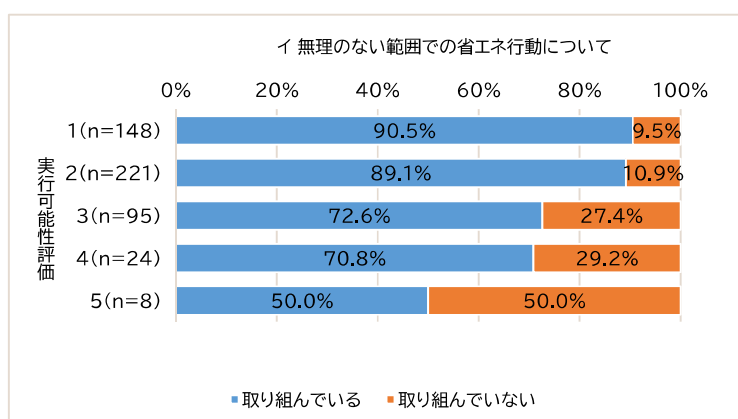


2. こまめな消灯など無理のない範囲での省エネ行動

- ・こまめな消灯など無理のない範囲での省エネ行動は、実行可能性評価が高い場合に、取り組んでいると答える割合が高い傾向にあります。

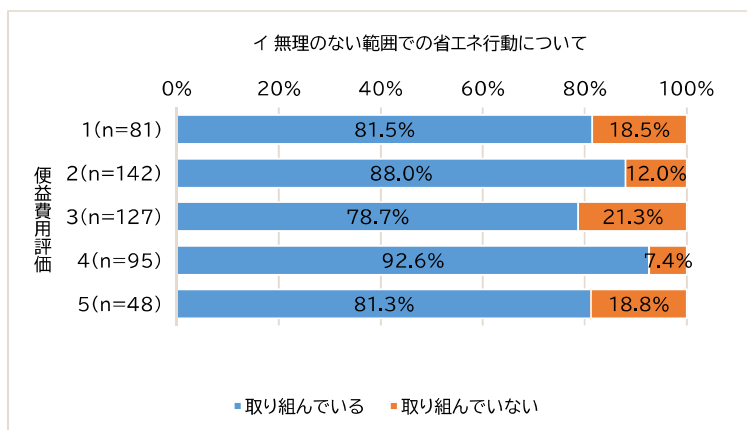
□ (問11-イ-①) 行動するための知識や情報の有無 (実行可能性評価)

選択肢	1	2	3	4	5	-	総計
取り組んでいる	134	197	69	17	4	4	425
総計	148	221	95	24	8	11	507



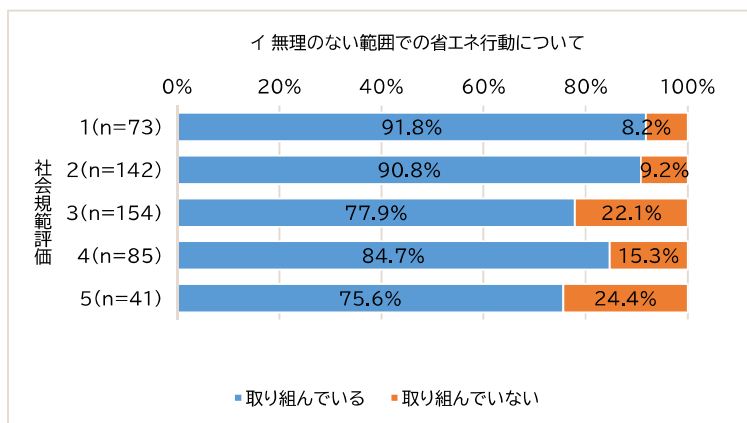
□ (問11-イ-②) 行動する際の不便、費用面での負担 (便益費用評価)

選択肢	1	2	3	4	5	-	総計
取り組んでいる	66	125	100	88	39	7	425
総計	81	142	127	95	48	14	507



□ (問11-イ-③) 取り組まないと後ろめたさを感じる (社会規範評価)

選択肢	1	2	3	4	5	-	総計
取り組んでいる	67	129	120	72	31	6	425
総計	73	142	154	85	41	12	507

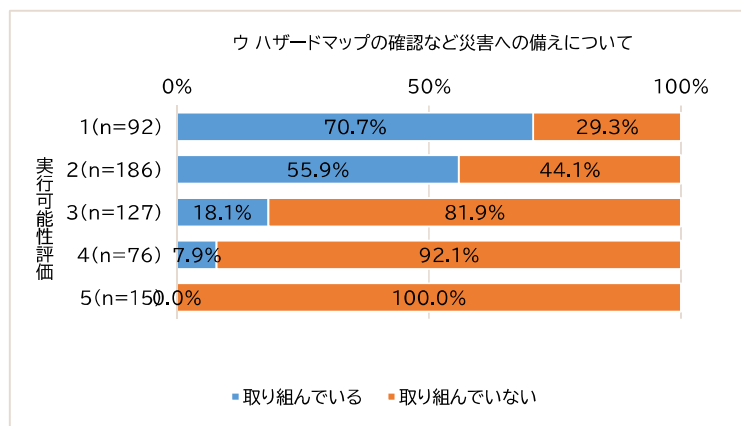


3. ハザードマップの確認など災害への備え

・ハザードマップの確認など災害への備えは、実行可能性評価が高い場合に、取り組んでいると答える割合が高くなっています。

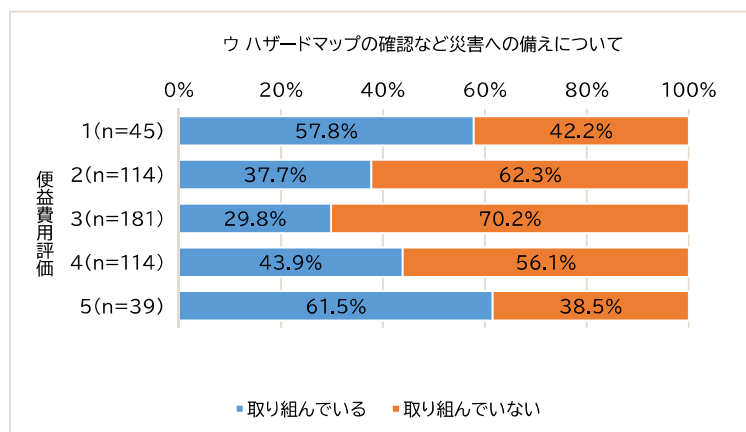
□ (問11-ウ-①) 行動するための知識や情報の有無 (実行可能性評価)

選択肢	1	2	3	4	5	-	総計
取り組んでいる	65	104	23	6	0	0	198
総計	92	186	127	76	15	11	507



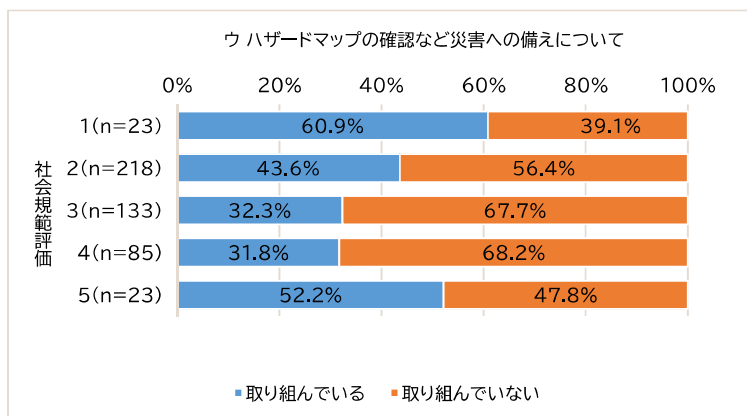
□ (問11-ウ-②) 行動する際の不便、費用面での負担 (便益費用評価)

選択肢	1	2	3	4	5	-	総計
取り組んでいる	26	43	54	50	24	1	198
総計	45	114	181	114	39	14	507



□ (問11-ウ-③) 取り組まないと後ろめたさを感じる (社会規範評価)

選択肢	1	2	3	4	5	-	総計
取り組んでいる	14	95	43	27	12	7	198
総計	23	218	133	85	23	25	507

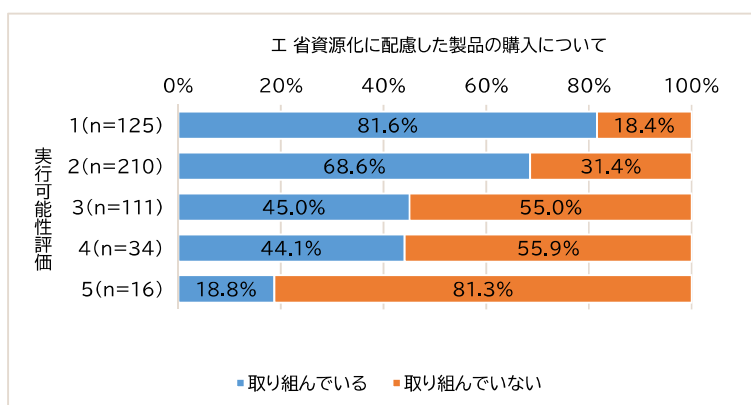


4. 詰替用商品や簡易包装商品などの省資源化に配慮した製品の購入

- 詰替用商品や簡易包装商品などの省資源化に配慮した製品の購入は、実行可能性評価が高い場合に、取り組んでいると答える割合が高くなっています。

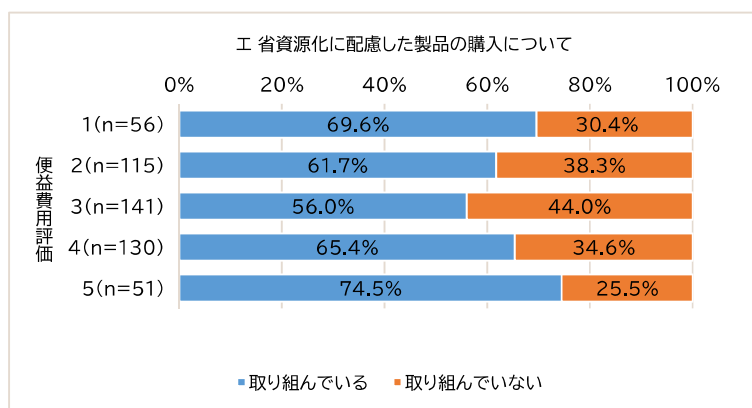
□ (問11-エ-①) 行動するための知識や情報の有無 (実行可能性評価)

選択肢	1	2	3	4	5	-	総計
取り組んでいる	102	144	50	15	3	6	320
総計	125	210	111	34	16	11	507



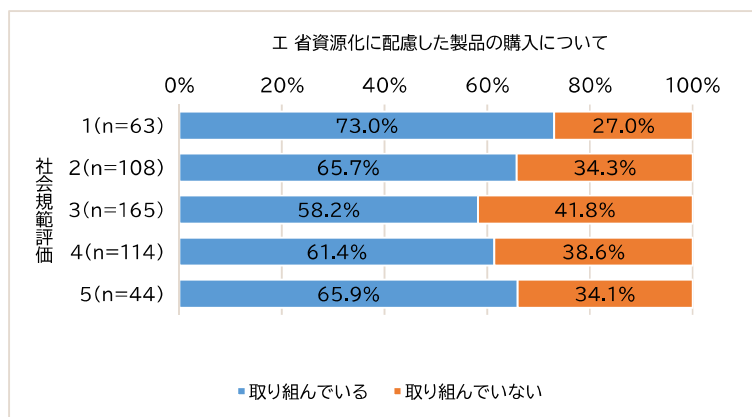
□ (問11-工-②) 行動する際の不便、費用面での負担 (便益費用評価)

選択肢	1	2	3	4	5	-	総計
取り組んでいる	39	71	79	85	38	8	320
総計	56	115	141	130	51	14	507



□ (問11-工-③) 取り組まないと後ろめたさを感じる (社会規範評価)

選択肢	1	2	3	4	5	-	総計
取り組んでいる	46	71	96	70	29	8	320
総計	63	108	165	114	44	13	507

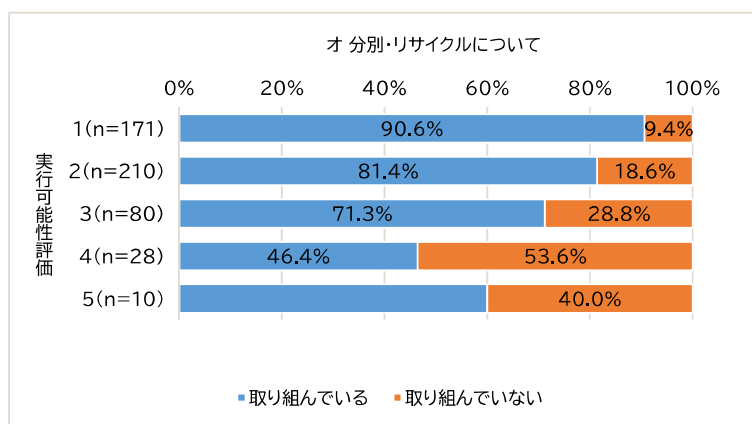


5. 紙資源やペットボトルなどの分別・リサイクル

・紙資源やペットボトルなどの分別・リサイクルは、実行可能性評価や社会規範評価が高い場合に、取り組んでいると答える割合が高い傾向にあります。

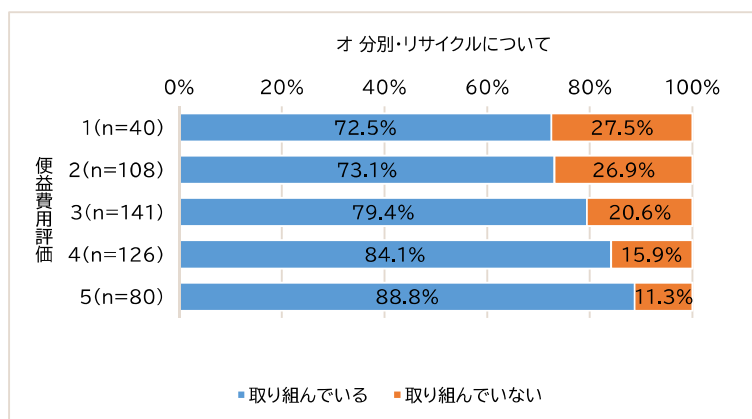
□ (問11-オ-①) 行動するための知識や情報の有無 (実行可能性評価)

選択肢	1	2	3	4	5	-	総計
取り組んでいる	155	171	57	13	6	3	405
総計	171	210	80	28	10	8	507



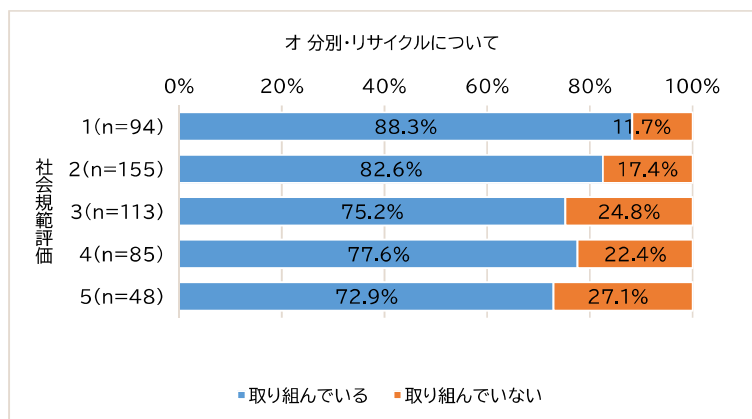
□ (問11-オ-②) 行動する際の不便、費用面での負担 (便益費用評価)

選択肢	1	2	3	4	5	-	総計
取り組んでいる	29	79	112	106	71	8	405
総計	40	108	141	126	80	12	507



□ (問11-オ-③) 取り組まないと後ろめたさを感じる (社会規範評価)

選択肢	1	2	3	4	5	-	総計
取り組んでいる	83	128	85	66	35	8	405
総計	94	155	113	85	48	12	507

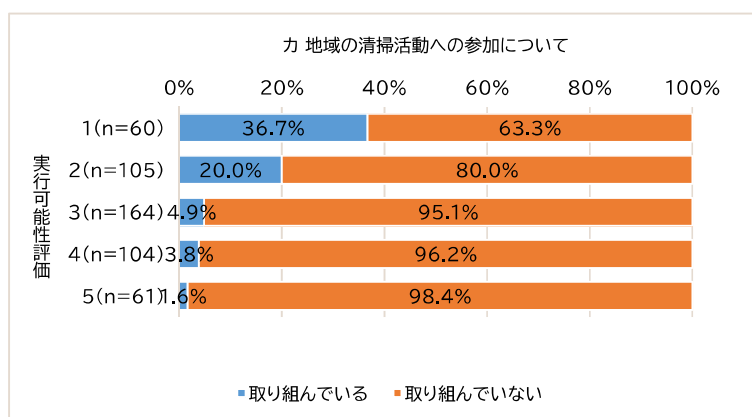


6. 地域の清掃活動への参加

- ・地域の清掃活動への参加は、実行可能性評価や社会規範評価が高い場合にに取り組んでいるとする割合が高くなる傾向があります。ただし、実行可能性評価や社会規範評価が高い場合でも取り組んでいないことが多くなっています。

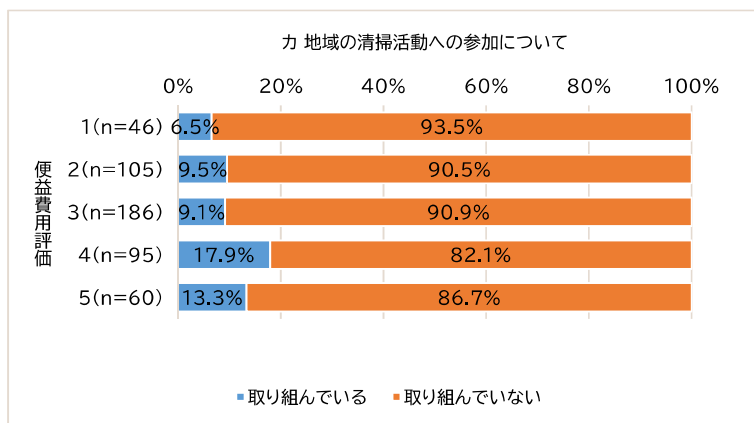
□ (問11-カ-①) 行動するための知識や情報の有無 (実行可能性評価)

選択肢	1	2	3	4	5	-	総計
取り組んでいる	22	21	8	4	1	2	58
総計	60	105	164	104	61	13	507



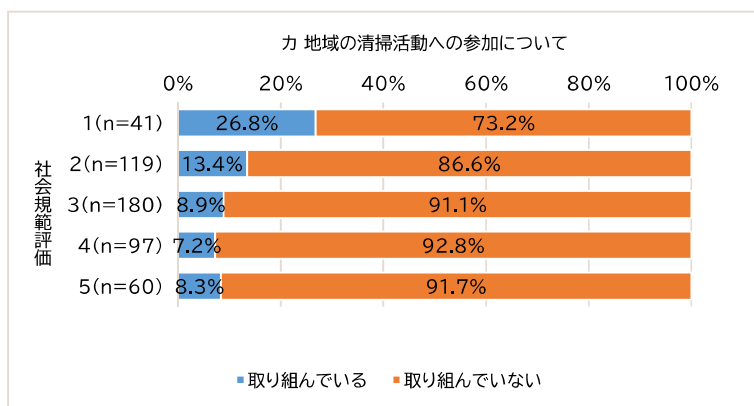
□ (問11-カ-②) 行動する際の不便、費用面での負担 (便益費用評価)

選択肢	1	2	3	4	5	-	総計
取り組んでいる	3	10	17	17	8	3	58
総計	46	105	186	95	60	15	507



□ (問11-カ-③) 取り組まないと後ろめたさを感じる (社会規範評価)

選択肢	1	2	3	4	5	-	総計
取り組んでいる	11	16	16	7	5	3	58
総計	41	119	180	97	60	10	507

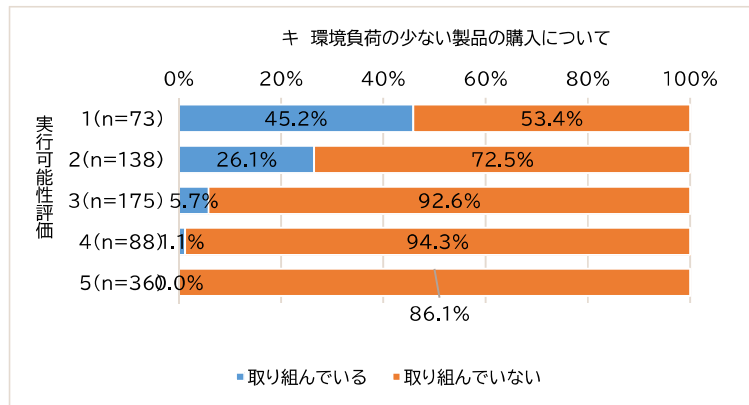


7. エコマークのついた商品などの環境負荷の少ない製品の購入

- ・エコマークのついた商品などの環境負荷の少ない製品の購入は、実行可能性評価や便益費用評価が高い場合に取り組んでいるとする割合が高くなる傾向があります。ただし、実行可能性評価や便益費用評価が高い場合でも取り組んでいないことが多くなっています。

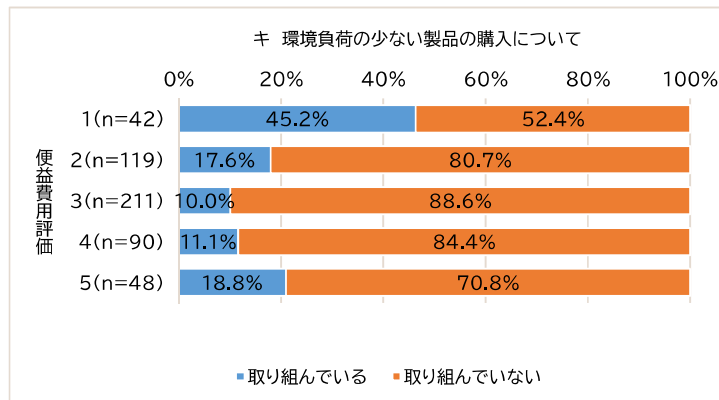
□ (問11-キ-①) 行動するための知識や情報の有無 (実行可能性評価)

選択肢	1	2	3	4	5	-	総計
取り組んでいる	33	36	10	1	0	2	82
総計	73	138	175	88	36	12	507



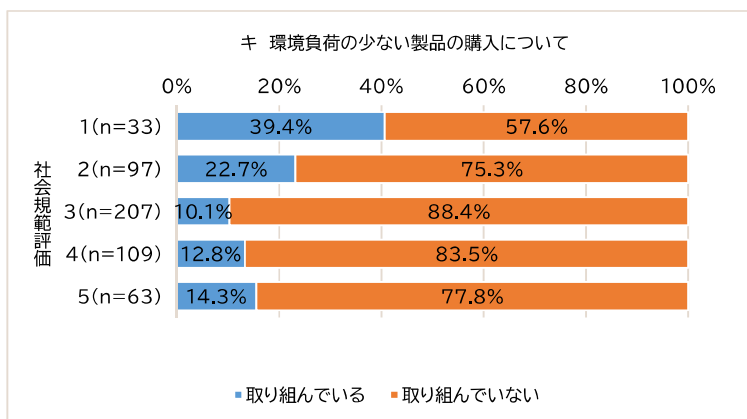
□ (問11-キ-②) 行動する際の不便、費用面での負担 (便益費用評価)

選択肢	1	2	3	4	5	-	総計
取り組んでいる	19	21	21	10	9	2	82
総計	42	119	211	90	48	12	507



□ (問11-キ-③) 取り組まないと後ろめたさを感じる (社会規範評価)

選択肢	1	2	3	4	5	-	総計
取り組んでいる	13	22	21	14	9	3	82
総計	33	97	207	109	63	13	507

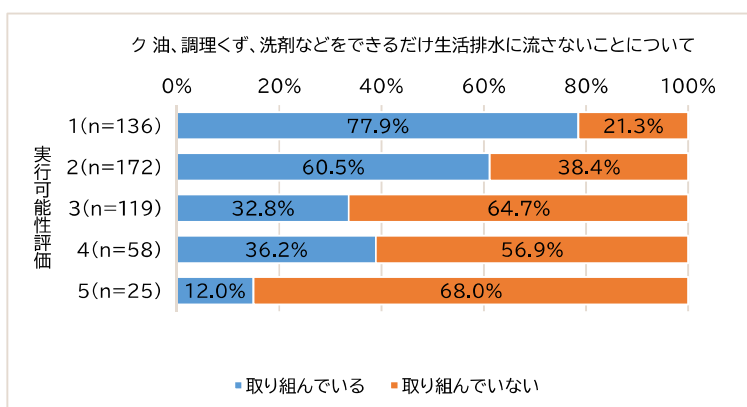


8. 油や調理くず、洗剤などをできるだけ生活排水に流さないこと

- ・油や調理くず、洗剤などをできるだけ生活排水に流さないことは、実行可能性評価や社会規範評価が高い場合に取り組んでいるとする割合が高くなる傾向があります。

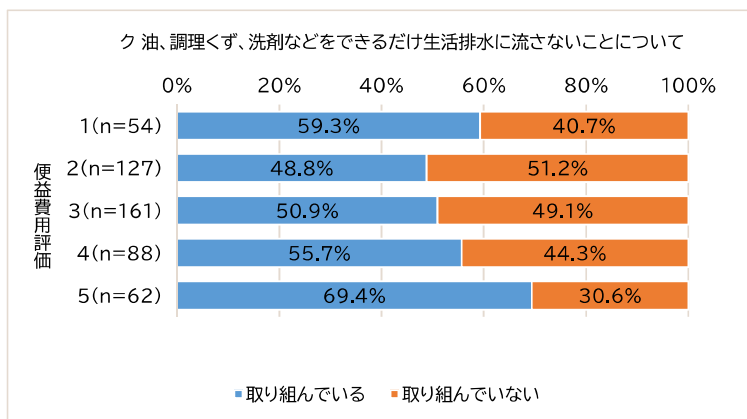
□ (問11-ク-①) 行動するための知識や情報の有無 (実行可能性評価)

選択肢	1	2	3	4	5	-	総計
取り組んでいる	106	104	39	21	3	1	274
総計	136	172	119	58	25	12	507



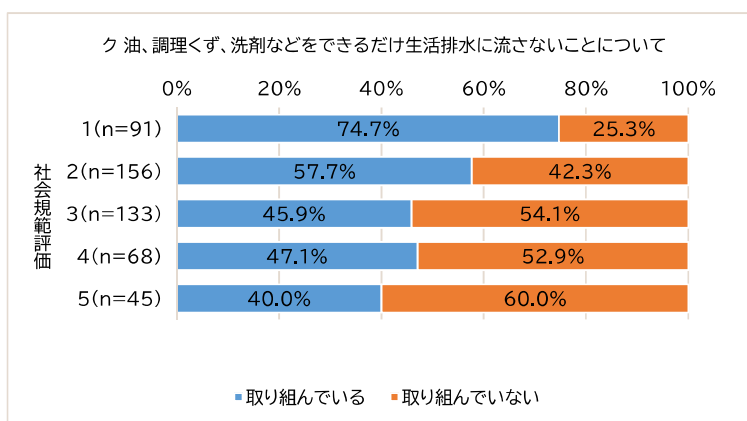
□ (問11-ク-②) 行動する際の不便、費用面での負担 (便益費用評価)

選択肢	1	2	3	4	5	-	総計
取り組んでいる	32	62	82	49	43	6	274
総計	54	127	161	88	62	15	507



□ (問11-ク-③) 取り組まないと後ろめたさを感じる (社会規範評価)

選択肢	1	2	3	4	5	-	総計
取り組んでいる	68	90	61	32	18	5	274
総計	91	156	133	68	45	14	507

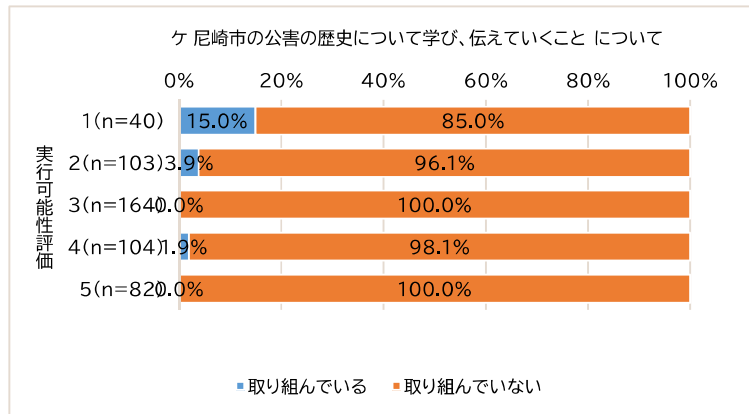


9. 尼崎市の公害の歴史について学び、伝えていくこと

- ・ 尼崎市の公害の歴史について学び、伝えていくことは、実行可能性評価や社会規範評価が高い場合に取り組んでいるとする割合が高くなる傾向があります。ただし、実行可能性評価や社会規範評価が高い場合でも取り組んでいないことが多くなっています。

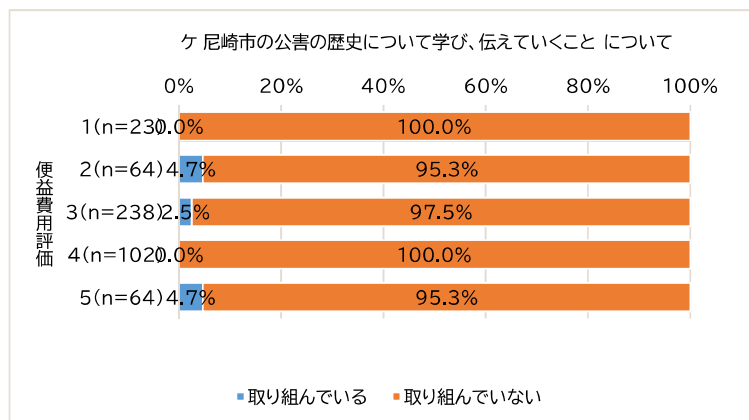
□ (問11-ケ-①) 行動するための知識や情報の有無 (実行可能性評価)

選択肢	1	2	3	4	5	-	総計
取り組んでいる	6	4	0	2	0	1	13
総計	40	103	164	104	82	14	507



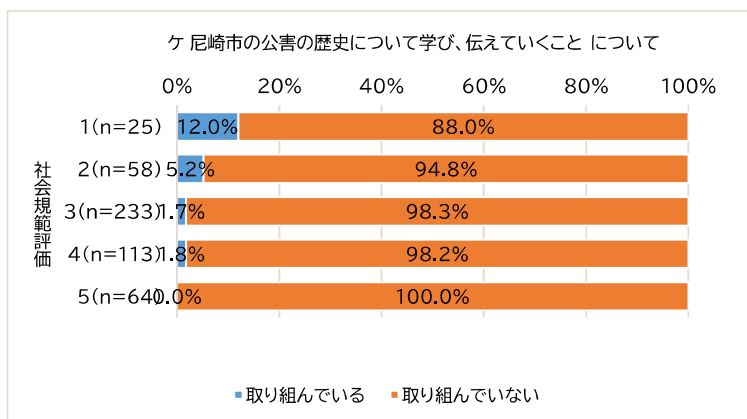
□ (問11-ケ-②) 行動する際の不便、費用面での負担 (便益費用評価)

選択肢	1	2	3	4	5	-	総計
取り組んでいる	0	3	6	0	3	1	13
総計	23	64	238	102	64	16	507



□ (問11-ケ-③) 取り組まないと後ろめたさを感じる (社会規範評価)

選択肢	1	2	3	4	5	-	総計
取り組んでいる	3	3	4	2	0	1	13
総計	25	58	233	113	64	14	507

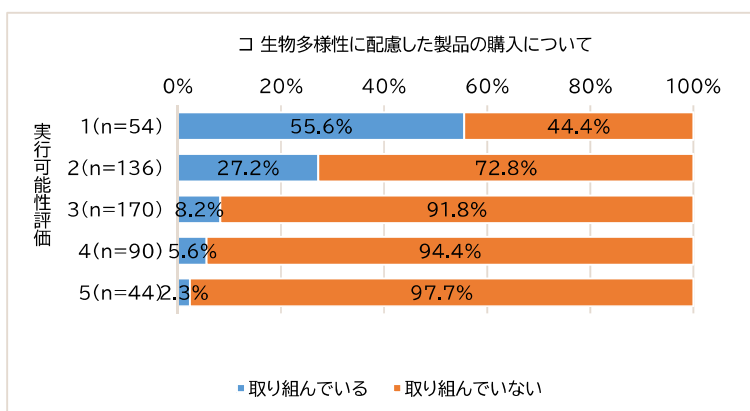


10. 地元野菜やオーガニック商品など生物多様性に配慮した製品の購入

- ・ 地元野菜やオーガニック商品など生物多様性に配慮した製品の購入は、実行可能性評価が高い場合に取り組んでいるとする割合が高くなっています。ただし、実行可能性評価が高い場合でも取り組んでいないことが多くなっています。

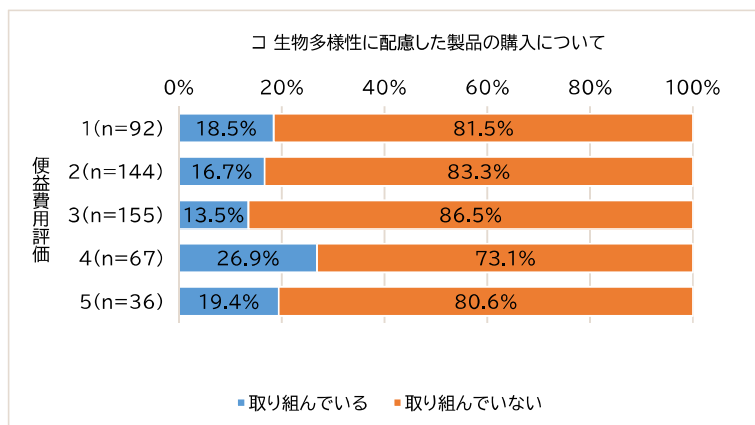
□ (問11-コ-①) 行動するための知識や情報の有無 (実行可能性評価)

選択肢	1	2	3	4	5	-	総計
取り組んでいる	30	37	14	5	1	1	88
総計	54	136	170	90	44	13	507



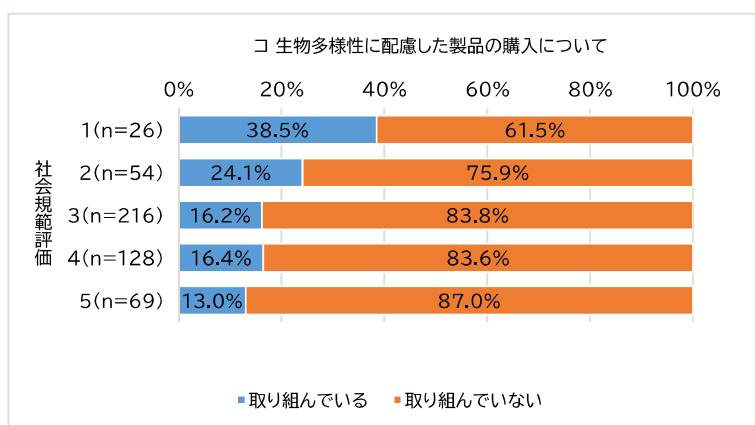
□ (問11-コ-②) 行動する際の不便、費用面での負担 (便益費用評価)

選択肢	1	2	3	4	5	-	総計
取り組んでいる	17	24	21	18	7	1	88
総計	92	144	155	67	36	13	507



□ (問11-コ-③) 取り組まないと後ろめたさを感じる (社会規範評価)

選択肢	1	2	3	4	5	-	総計
取り組んでいる	10	13	35	21	9	0	88
総計	26	54	216	128	69	14	507

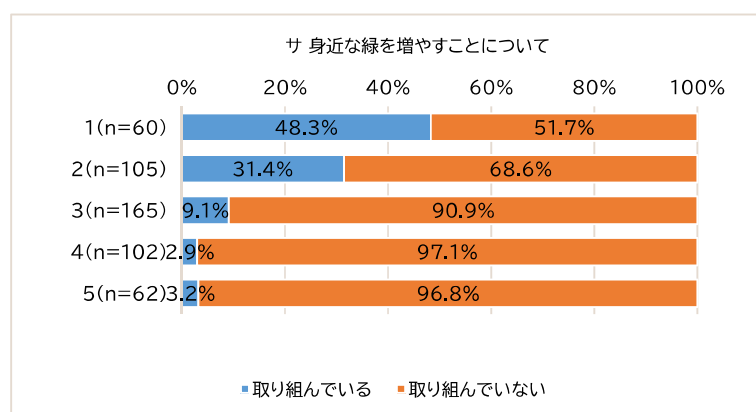


11. ガーデニングなど身近な緑を増やすこと

- ・ガーデニングなど身近な緑を増やすことは、実行可能性評価や社会規範評価が高い場合に組み組んでいるとする割合が高くなる傾向があります。ただし、実行可能性評価や社会規範評価が高い場合でも組み組んでいないことが多くなっています。

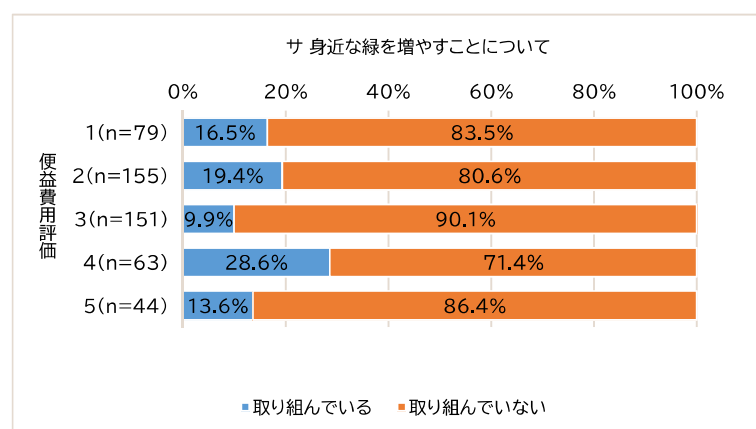
□ (問11-サ-①) 行動するための知識や情報の有無 (実行可能性評価)

選択肢	1	2	3	4	5	-	総計
取り組んでいる	29	33	15	3	2	2	84
総計	60	105	165	102	62	13	507



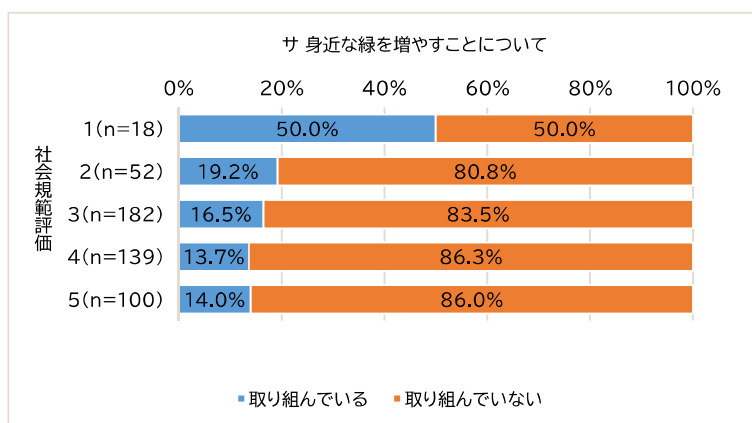
□ (問11-サ-②) 行動する際の不便、費用面での負担 (便益費用評価)

選択肢	1	2	3	4	5	-	総計
取り組んでいる	13	30	15	18	6	2	84
総計	79	155	151	63	44	15	507



□ (問11-サ-③) 取り組まないと後ろめたさを感じる (社会規範評価)

選択肢	1	2	3	4	5	-	総計
取り組んでいる	9	10	30	19	14	2	84
総計	18	52	182	139	100	16	507

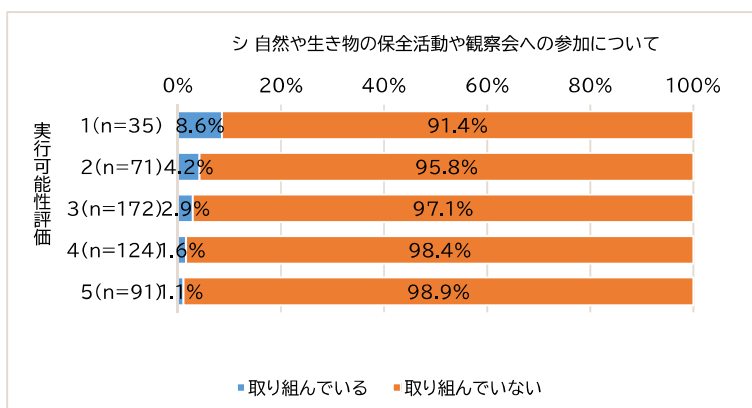


12. 自然や生き物の保全活動や観察会への参加

- ・自然や生き物の保全活動や観察会へ参加していないという回答が多く、実行可能性評価、便益費用評価、社会規範評価との関連はうかがえません。

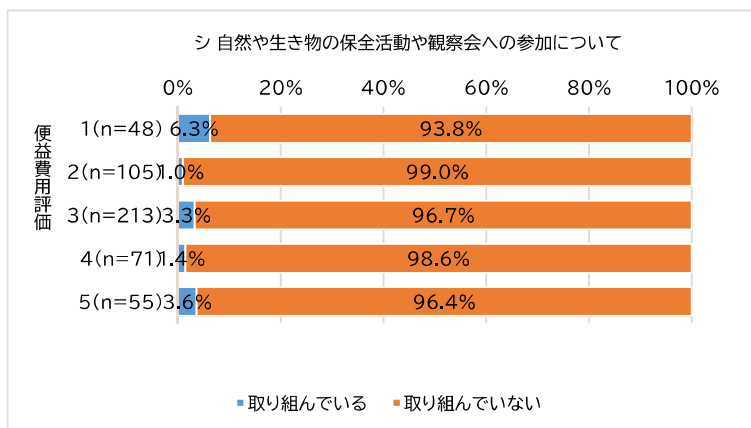
□ (問11-シ-①) 行動するための知識や情報の有無 (実行可能性評価)

選択肢	1	2	3	4	5	-	総計
取り組んでいる	3	3	5	2	1	0	14
総計	35	71	172	124	91	14	507



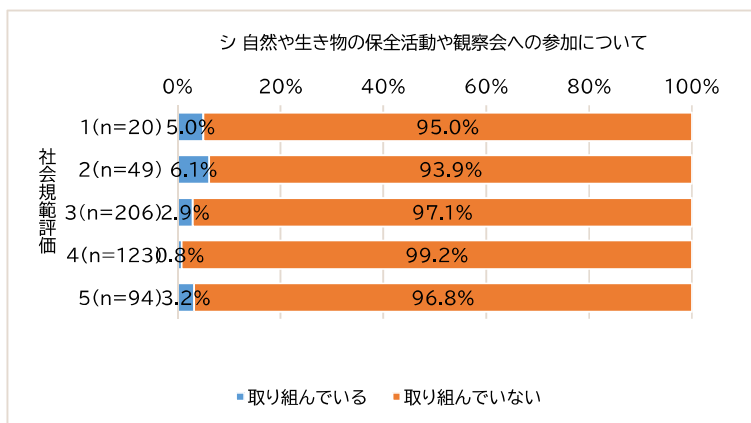
□ (問11-シ-②) 行動する際の不便、費用面での負担 (便益費用評価)

選択肢	1	2	3	4	5	-	総計
取り組んでいる	3	1	7	1	2	0	14
総計	48	105	213	71	55	15	507



□ (問11-シ-③) 取り組まないと後ろめたさを感じる (社会規範評価)

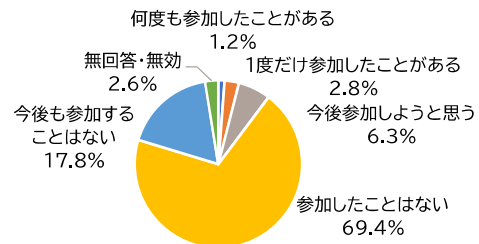
選択肢	1	2	3	4	5	-	総計
取り組んでいる	1	3	6	1	3	0	14
総計	20	49	206	123	94	15	507



問13 尼崎市内で実施されている環境学習活動（自然観察会や市の出前講座など）への参加状況について、あてはまる番号に○をつけてください。（○は1つ）

- ・「参加したことはない」とする回答が69.4%と最も多く、ついで「今後も参加することはない」が17.8%、「今後参加しようと思う」が6.3%となっています。

選択肢	合計	割合
何度も参加したことがある	6	1.2%
1度だけ参加したことがある	14	2.8%
今後参加しようと思う	32	6.3%
参加したことはない	352	69.4%
今後も参加することはない	90	17.8%
無回答・無効	13	2.6%
回答数	507	100.0%



【参考】現行計画策定時（2013年）の結果との比較

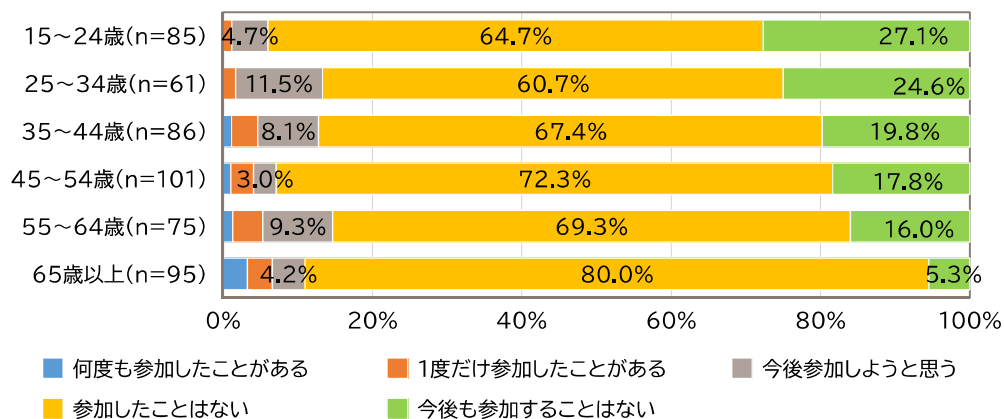
- ・現行計画策定時（2013年）の結果を見ると、「市や市民団体、企業などが環境保全活動や学習会などを実施しています。こうした活動に参加したことがありますか」との問いに、「よく参加している」とする回答と「参加したことがある」とする回答を合わせると8.1%となっています。
- ・今回の調査では、「何度も参加したことがある」、「1度だけ参加したことがある」とする回答を合わせると3.9%で、現行計画策定時（2013年）の結果より低い値となっています。

【現行計画策定時の調査結果】

選択肢	割合
よく参加している	0.4%
参加したことがある	7.7%
参加したことがない	89.1%
無回答	2.8%

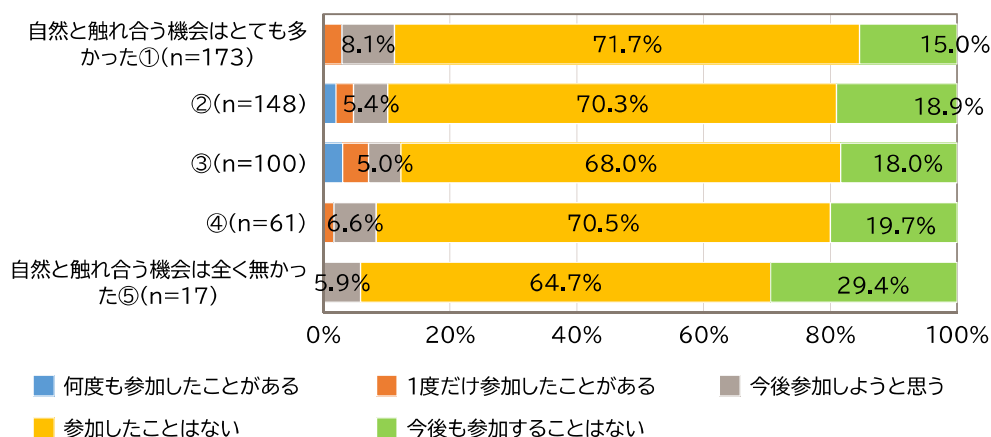
□ 年齢別

- ・年齢別では、どの世代でも「参加したことはない」とする回答が6割以上を占めており、特に高齢世代ほど高い割合となっています。
- ・「今後も参加することはない」とする回答は、若年層ほど高くなっています。



□ 子どものころ（概ね小学校卒業まで）の自然体験の状況別

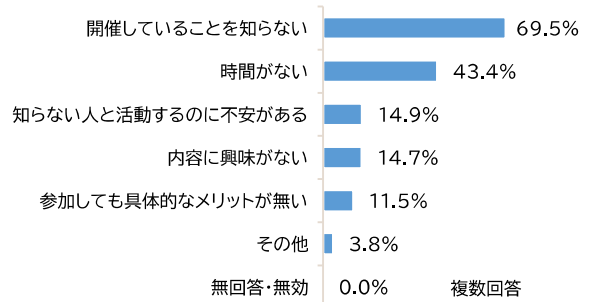
- ・「今後も参加することはない」と答える割合は、「⑤自然とふれあう機会は全くなかった」と答える層で「①」～「④」よりも多くなっています。



問14 問13で「4. 参加したことはない」「5. 今後も参加することはない」と回答された方にお聞きします。参加しない理由として、当てはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)

- ・「開催していることを知らない」とする回答が69.5%と最も多く、ついで、「時間がない」が43.4%、「知らない人と活動するのに不安がある」が14.9%となっています。

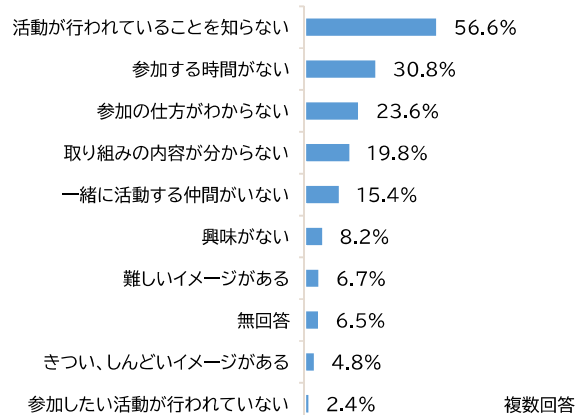
選択肢	合計	割合
開催していることを知らない	307	69.5%
時間がない	192	43.4%
内容に興味がない	65	14.7%
参加しても具体的なメリットが無い	51	11.5%
知らない人と活動するのに不安がある	66	14.9%
その他	17	3.8%
無回答・無効	0	0.0%
回答数	442	100.0%



【参考】現行計画策定時（2013年）の結果との比較

- ・現行計画策定時（2013年）の結果を見ると、「活動が行われていることを知らない」とする回答が56.6%で、質問の仕方が異なるものの今回の調査と同様の結果となっています。
- ・「時間がない」とする回答は、今回の調査の方が高い割合となっています。

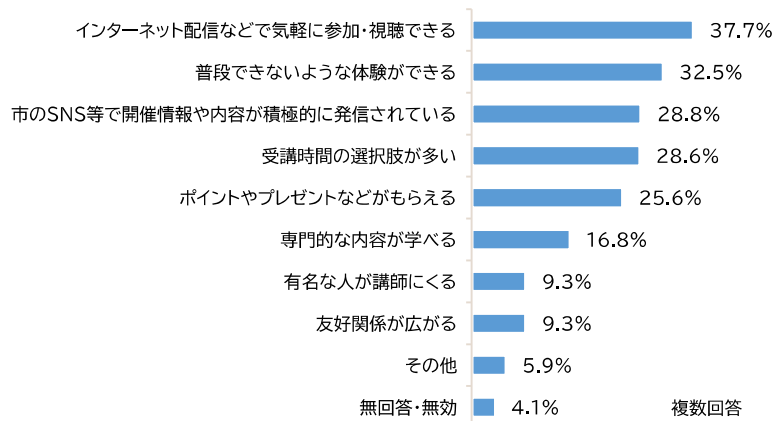
選択肢	割合
活動が行われていることを知らない	56.6%
参加の仕方がわからない	23.6%
取り組みの内容がわからない	19.8%
きつい、しんどいイメージがある	4.8%
難しいイメージがある	6.7%
一緒に活動する仲間がいない	15.4%
参加したい活動が行われていない	2.4%
参加する時間がない	30.8%
興味がない	8.2%
無回答	6.5%



問15 あなたが環境学習活動に参加を検討するための条件は何ですか。当てはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)

・「インターネット配信などで気軽に参加・視聴できる」とする回答が37.7%と最も多く、
 ついで、「普段できないような体験ができる」が32.5%、「市のSNS等で開催情報や内容
 が積極的に発信されている」が28.8%となっています。

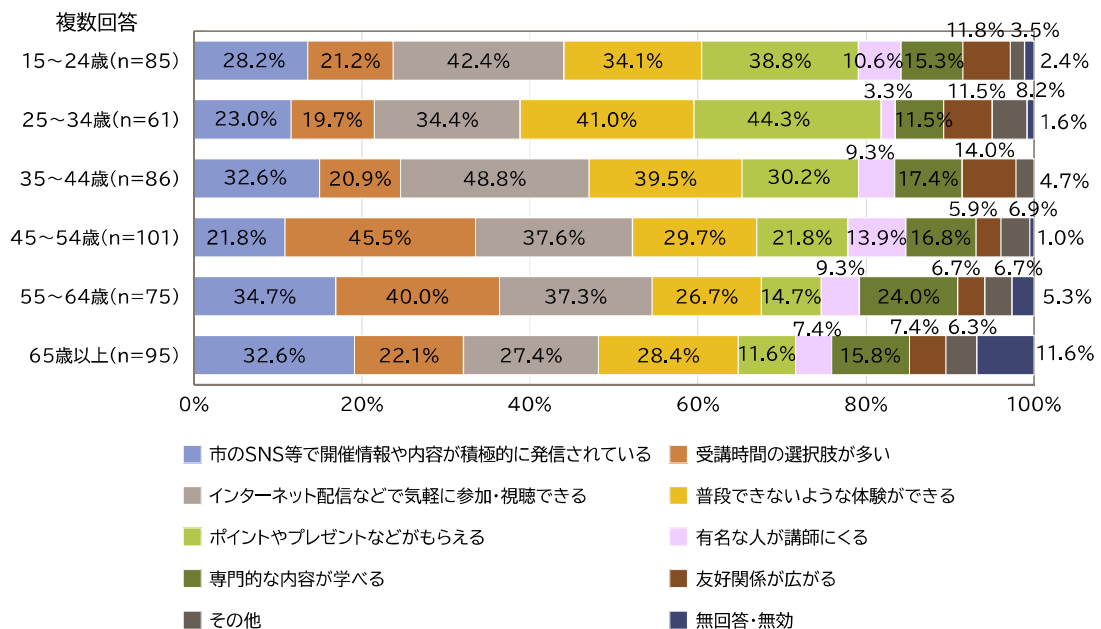
選択肢	合計	割合
市のSNS等で開催情報や内容が積極的に発信されている	146	28.8%
受講時間の選択肢が多い	145	28.6%
インターネット配信などで気軽に参加・視聴できる	191	37.7%
普段できないような体験ができる	165	32.5%
ポイントやプレゼントなどがもらえる	130	25.6%
有名な人が講師にくる	47	9.3%
専門的な内容が学べる	85	16.8%
友好関係が広がる	47	9.3%
その他	30	5.9%
無回答・無効	21	4.1%
回答数	507	100.0%



□ 年齢別

- ・環境学習活動に参加を検討するための条件として、「市のSNS等で開催情報や内容が積極的に発信されている」ことは55～64歳で他の年齢層よりも重視されています。
- ・「受講時間の選択肢が多い」ことは45～54歳で他の年齢層よりも重視されています。
- ・「ポイントやプレゼントなどがもらえる」ことは25～34歳で他の年齢層よりも重視されています。

選択肢	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上	無回答・無効	回答数
市のSNS等で開催情報や内容が積極的に発信されている	24	14	28	22	26	31	1	146
受講時間の選択肢が多い	18	12	18	46	30	21	0	145
インターネット配信などで気軽に参加・視聴できる	36	21	42	38	28	26	0	191
普段できないような体験ができる	29	25	34	30	20	27	0	165
ポイントやプレゼントなどがもらえる	33	27	26	22	11	11	0	130
有名な人が講師にくる	9	2	8	14	7	7	0	47
専門的な内容が学べる	13	7	15	17	18	15	0	85
友好関係が広がる	10	7	12	6	5	7	0	47
その他	3	5	4	7	5	6	0	30
無回答・無効	2	1	0	1	4	11	2	21
総計	85	61	86	101	75	95	4	507

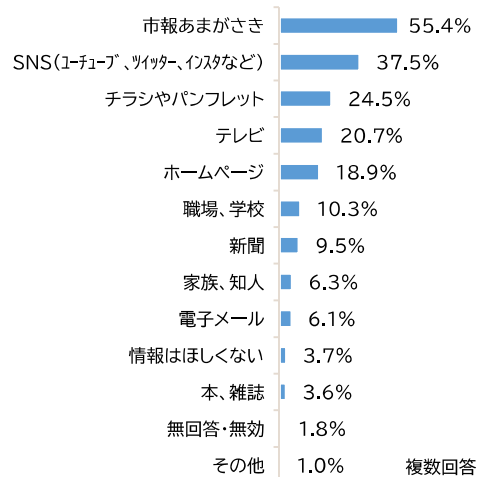


9 環境問題にかかわる情報の取得について

問16 あなたは、環境に関する活動を行うための情報を主にどこから入手したいと思いますか。当てはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)

- ・「市報あまがさき」とする回答が55.4%と最も多く、ついで、「SNS(YouTube、Twitter、インスタなど)」が37.5%、「チラシやパンフレット」が24.5%となっています。

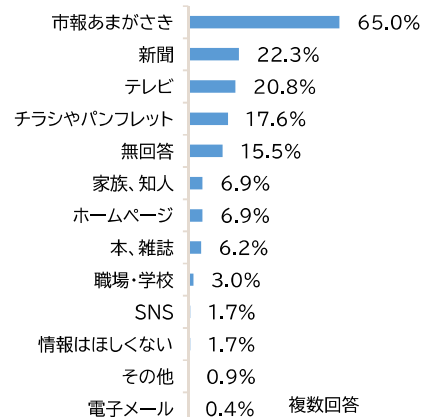
選択肢	合計	割合
市報あまがさき	281	55.4%
チラシやパンフレット	124	24.5%
テレビ	105	20.7%
新聞	48	9.5%
本、雑誌	18	3.6%
家族、知人	32	6.3%
職場、学校	52	10.3%
電子メール	31	6.1%
ホームページ	96	18.9%
SNS(YouTube、Twitter、インスタなど)	190	37.5%
その他	5	1.0%
情報はほしくない	19	3.7%
無回答・無効	9	1.8%
回答数	507	100.0%



【参考】現行計画策定時（2013年）の結果との比較

- ・現行計画策定時（2013年）の結果を見ると、「市報あまがさき」とする回答が65.0%と最も多く、ついで、「新聞」が22.3%、「テレビ」が20.8%となっています。
- ・現行計画策定時（2013年）に「SNS」とする回答は1.7%でしたが、今回の調査では36.9%と大幅に増加しています。一方で、「市報あまがさき」や「新聞」と答える割合は減少しています。

選択肢	割合
市報あまがさき	65.0%
市や市民団体等のチラシやパンフレット	17.6%
テレビ	20.8%
新聞	22.3%
本、雑誌	6.2%
家族、知人	6.9%
職場・学校	3.0%
電子メール	0.4%
ホームページ	6.9%
SNS(フェイスブック、ツイッター、mixiなど)	1.7%
その他	0.9%
情報はほしくない	1.7%
無回答	15.5%



□ 年齢別

- ・年齢別にみると、年齢層が高いほど「市報あまがさき」、「チラシやパンフレット」、「新聞」といった紙媒体を回答に挙げる割合が高い傾向にあり、若い世代では、SNS(YouTube、ツイッター、インスタなど)と答える割合が高い傾向にあります。

選択肢	15～24歳		25～34歳		35～44歳		45～54歳		55～64歳		65歳以上		無回答・無効	回答数	
市報あまがさき	20	(23.5%)	20	(32.8%)	55	(64.0%)	64	(63.4%)	51	(68.0%)	71	(74.7%)	0	(0.0%)	281
チラシやパンフレット	16	(18.8%)	10	(16.4%)	22	(25.6%)	27	(26.7%)	21	(28.0%)	28	(29.5%)	0	(0.0%)	124
テレビ	24	(28.2%)	12	(19.7%)	12	(14.0%)	19	(18.8%)	15	(20.0%)	22	(23.2%)	1	(25.0%)	105
新聞	3	(3.5%)	0	(0.0%)	1	(1.2%)	6	(5.9%)	10	(13.3%)	27	(28.4%)	1	(25.0%)	48
本、雑誌	6	(7.1%)	1	(1.6%)	4	(4.7%)	1	(1.0%)	4	(5.3%)	2	(2.1%)	0	(0.0%)	18
家族、知人	8	(9.4%)	2	(3.3%)	6	(7.0%)	9	(8.9%)	2	(2.7%)	5	(5.3%)	0	(0.0%)	32
職場、学校	10	(11.8%)	8	(13.1%)	13	(15.1%)	14	(13.9%)	6	(8.0%)	1	(1.1%)	0	(0.0%)	52
電子メール	4	(4.7%)	3	(4.9%)	5	(5.8%)	7	(6.9%)	5	(6.7%)	7	(7.4%)	0	(0.0%)	31
ホームページ	9	(10.6%)	10	(16.4%)	15	(17.4%)	26	(25.7%)	22	(29.3%)	14	(14.7%)	0	(0.0%)	96
SNS(YouTube、ツイッター、インスタなど)	56	(65.9%)	42	(68.9%)	40	(46.5%)	29	(28.7%)	14	(18.7%)	9	(9.5%)	0	(0.0%)	190
その他	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(1.2%)	2	(2.0%)	2	(2.7%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	5
情報はほしくない	5	(5.9%)	2	(3.3%)	1	(1.2%)	6	(5.9%)	2	(2.7%)	3	(3.2%)	0	(0.0%)	19
無回答・無効	2	(2.4%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(2.7%)	3	(3.2%)	2	(50.0%)	9
総計	85	(100.0%)	61	(100.0%)	86	(100.0%)	101	(100.0%)	75	(100.0%)	95	(100.0%)	4	(100.0%)	507

(複数回答)

10 SDGsに関する取組状況

問17 あなたは、PTAや自治会、地域のグループ等で活動を行っていますか。環境に限らず、差し支えない範囲で活動内容をお書きください。(自由回答)

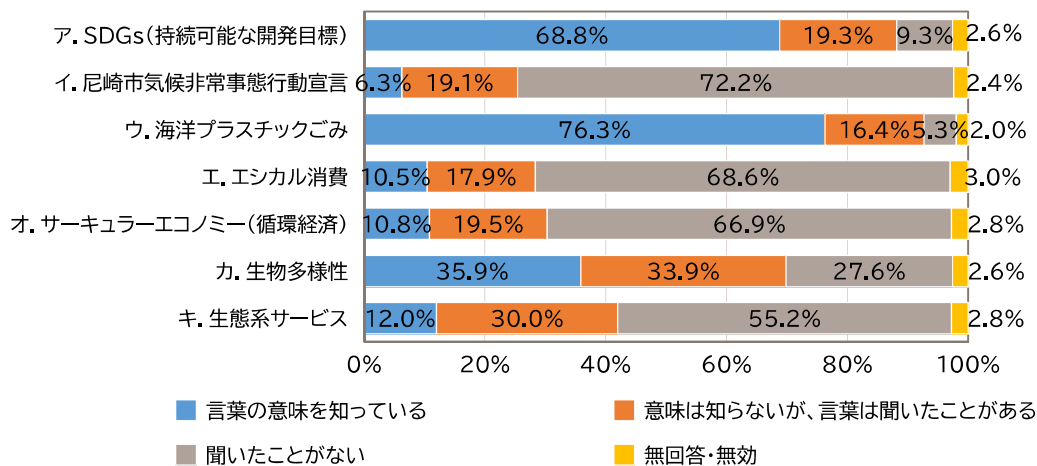
PTA活動 7件	清掃活動 6件
マンション管理組合 1件	寄付金 1件
自治会活動 10件	その他の活動 3件
地域コミュニティ活動 1件	活動無し 21件
スポーツ活動 3件	その他ご意見 1件

- ・自治会活動の10件や、PTA活動の7件、清掃活動の7件などが記載内容の上位にあります。
- ・地域コミュニティ活動では、環境問題への取組などの記載が見られました。

11 環境に関連する知識や認識の状況

問18 次のア～キの言葉について、どのくらい知っていますか。最も近い番号に○をつけてください。(○は1つ)

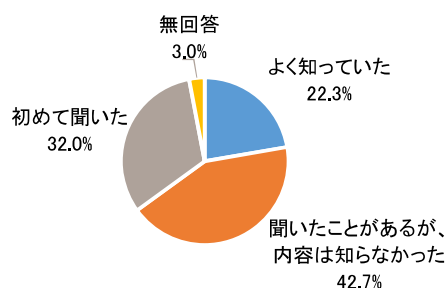
- ・言葉の意味を知っているとする回答は「SDGs (持続可能な開発目標)」や「海洋プラスチックごみ」で高い割合となっています。
- ・「尼崎市気候非常事態行動宣言」、「エシカル消費」、「サーキュラーエコノミー (循環経済)」は「聞いたことがない」とする回答が7割前後となっています。



【参考】現行計画策定時（2013年）の結果との比較

- ・現行計画策定時（2013年）の調査結果では、人間の活動による影響等が原因で危機に瀕しているとされる「生物多様性」についてご存じでしたかとの質問に対して、「よく知っていた」が22.3%、「聞いたことがあるが、内容は知らなかった」とする回答が42.7%でした。
- ・今回の調査の方が生物多様性に対する認知度は高くなっています。

選択肢	割合
よく知っていた	22.3%
聞いたことがあるが、内容は知らなかった	42.7%
初めて聞いた	32.0%
無回答	3.0%

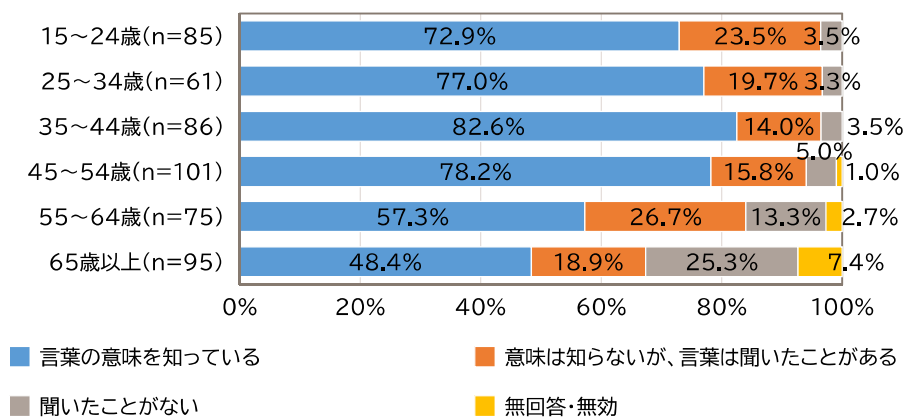


□ 年齢別

ア. SDGs（持続可能な開発目標）

- ・「言葉の意味を知っている」は、35～44歳で他の世代より高い割合を示し、「聞いたことがない」は、65歳以上で他の世代より高い割合を示します。

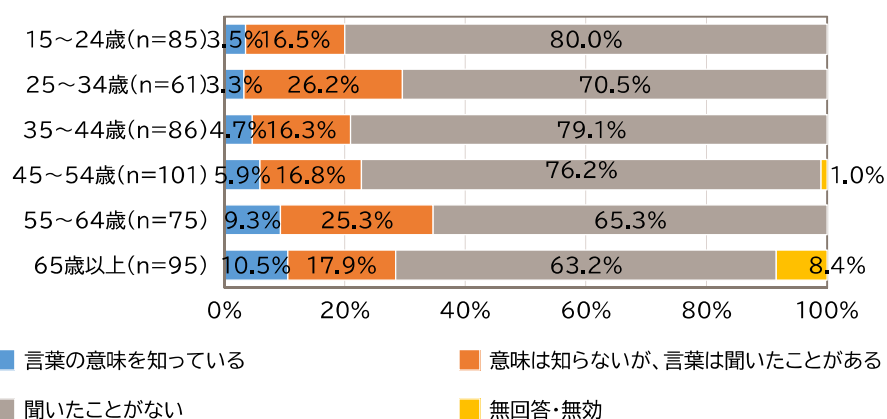
選択肢	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上	無回答・無効	回答数
言葉の意味を知っている	62	47	71	79	43	46	1	349
意味は知らないが、言葉は聞いたことがある	20	12	12	16	20	18	0	98
聞いたことがない	3	2	3	5	10	24	0	47
無回答・無効	0	0	0	1	2	7	3	13
回答数	85	61	86	101	75	95	4	507



イ. 尼崎市気候非常事態行動宣言

- ・「言葉の意味を知っている」は、65歳以上で他の世代より高い割合を示し、「聞いたことがない」は、15～24歳で他の世代より高い割合を示します。

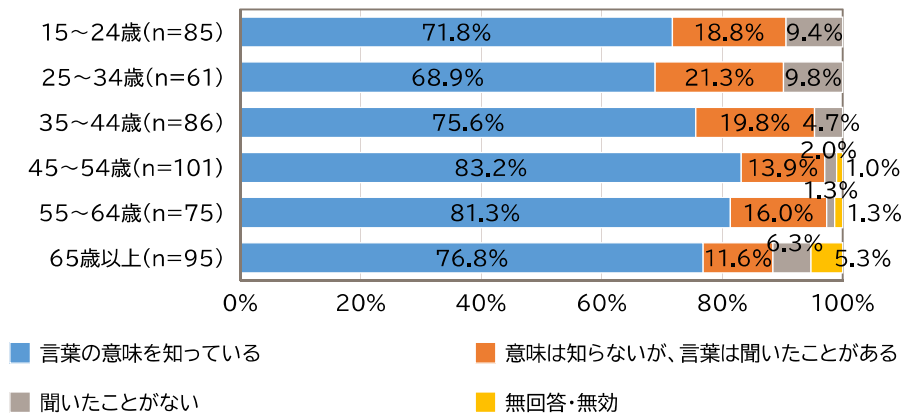
選択肢	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上	無回答・無効	回答数
言葉の意味を知っている	3	2	4	6	7	10	0	32
意味は知らないが、言葉は聞いたことがある	14	16	14	17	19	17	0	97
聞いたことがない	68	43	68	77	49	60	1	366
無回答・無効	0	0	0	1	0	8	3	12
総計	85	61	86	101	75	95	4	507



ウ. 海洋プラスチックごみ

- ・「言葉の意味を知っている」は、45～54歳で他の世代より高い割合を示し、「聞いたことがない」は、25～34歳で他の世代より高い割合を示します。

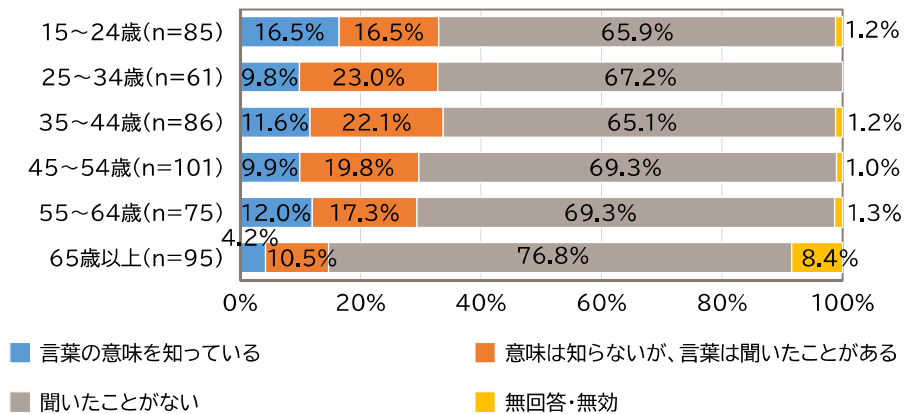
選択肢	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上	無回答・無効	回答数
言葉の意味を知っている	61	42	65	84	61	73	1	387
意味は知らないが、言葉は聞いたことがある	16	13	17	14	12	11	0	83
聞いたことがない	8	6	4	2	1	6	0	27
無回答・無効	0	0	0	1	1	5	3	10
総計	85	61	86	101	75	95	4	507



エ. エシカル消費

- ・「言葉の意味を知っている」は、15～24歳で他の世代より高い割合を示し、「聞いたことがない」は、65歳以上で他の世代より高い割合を示します。

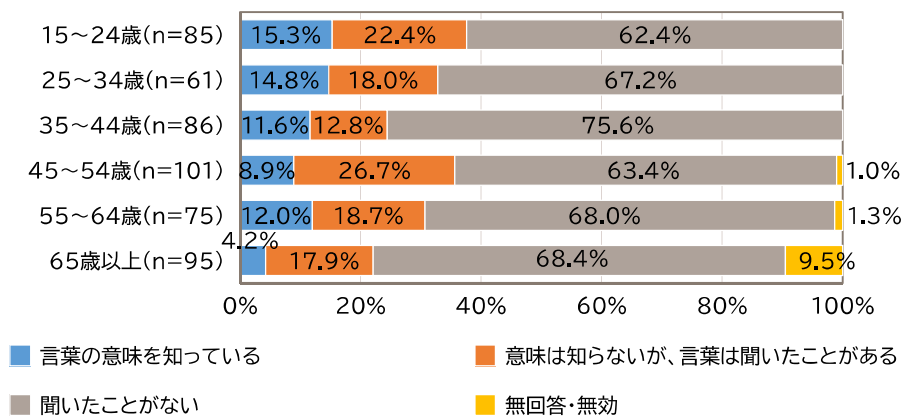
選択肢	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上	無回答・無効	回答数
言葉の意味を知っている	14	6	10	10	9	4	0	53
意味は知らないが、言葉は聞いたことがある	14	14	19	20	13	10	1	91
聞いたことがない	56	41	56	70	52	73	0	348
無回答・無効	1	0	1	1	1	8	3	15
総計	85	61	86	101	75	95	4	507



オ. サーキュラーエコノミー（循環経済）

- ・「言葉の意味を知っている」は、15～24歳で他の世代より高い割合を示し、「聞いたことがない」は、35～44歳で他の世代より高い割合を示します。

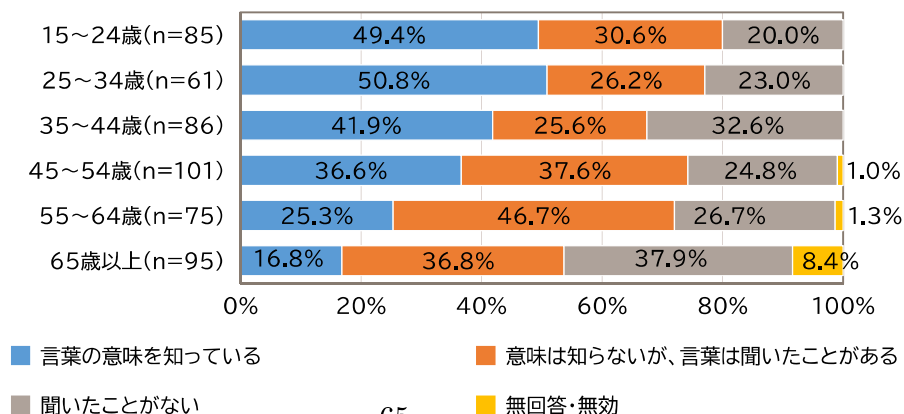
選択肢	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上	無回答・無効	回答数
言葉の意味を知っている	13	9	10	9	9	4	1	55
意味は知らないが、言葉は聞いたことがある	19	11	11	27	14	17	0	99
聞いたことがない	53	41	65	64	51	65	0	339
無回答・無効	0	0	0	1	1	9	3	14
総計	85	61	86	101	75	95	4	507



カ. 生物多様性

- ・「言葉の意味を知っている」は、25～34歳で他の世代より高い割合を示し、「聞いたことがない」は、65歳以上で他の世代より高い割合を示します。

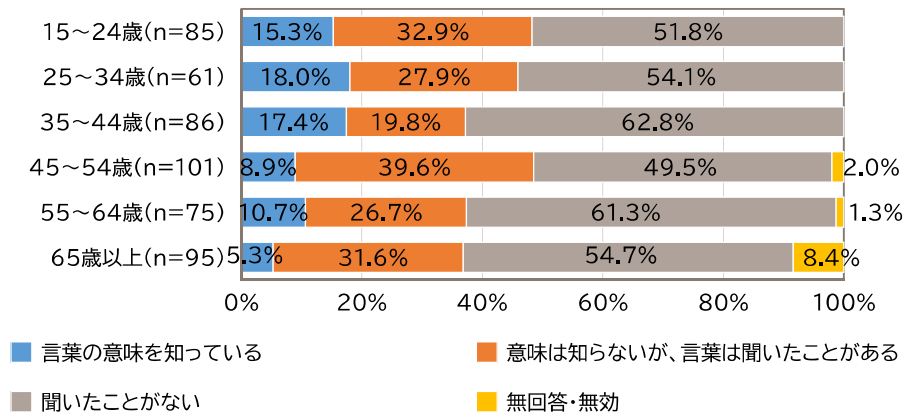
選択肢	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上	無回答・無効	回答数
言葉の意味を知っている	42	31	36	37	19	16	1	182
意味は知らないが、言葉は聞いたことがある	26	16	22	38	35	35	0	172
聞いたことがない	17	14	28	25	20	36	0	140
無回答・無効	0	0	0	1	1	8	3	13
総計	85	61	86	101	75	95	4	507



キ. 生態系サービス

・「言葉の意味を知っている」は、25～34歳で他の世代より高い割合を示し、「聞いたことがない」は、35～44歳で他の世代より高い割合を示します。

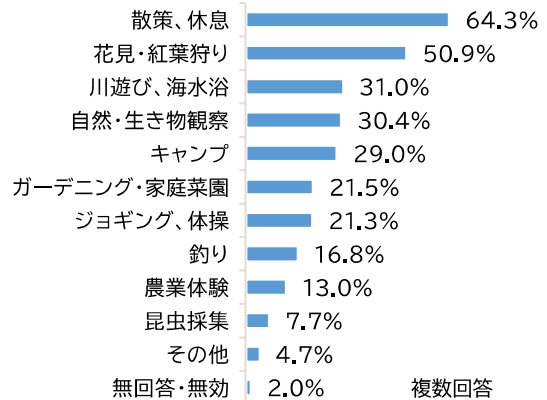
選択肢	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上	無回答・無効	回答数
言葉の意味を知っている	13	11	15	9	8	5	0	61
意味は知らないが、言葉は聞いたことがある	28	17	17	40	20	30	0	152
聞いたことがない	44	33	54	50	46	52	1	280
無回答・無効	0	0	0	2	1	8	3	14
総計	85	61	86	101	75	95	4	507



問19 あなたが自然を体験するための活動は以下のうちどれに当たりますか。当てはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

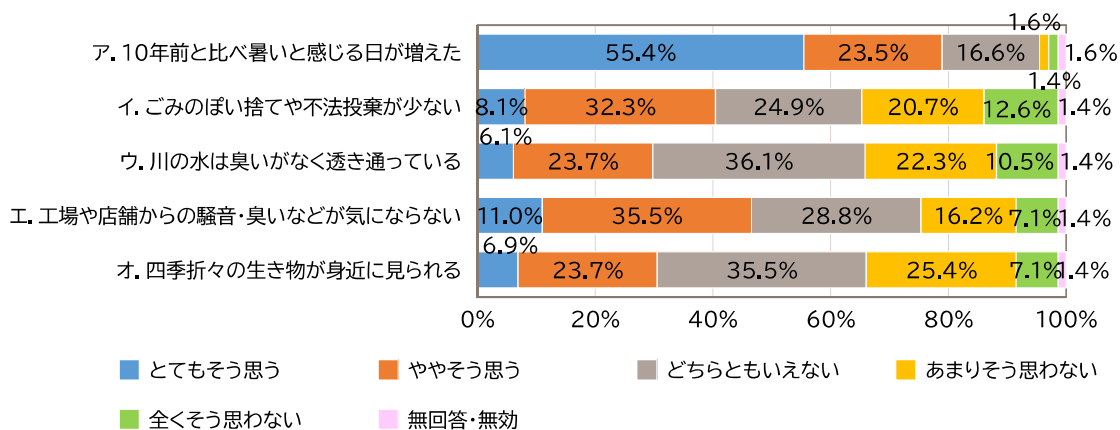
・「散策、休息」とする回答が64.3%と最も多く、ついで、「花見・紅葉狩り」が50.9%、「川遊び、海水浴」が31.0%となっています。

選択肢	合計	割合
散策、休息	326	64.3%
自然・生き物観察	154	30.4%
川遊び、海水浴	157	31.0%
キャンプ	147	29.0%
ジョギング、体操	108	21.3%
ガーデニング・家庭菜園	109	21.5%
農業体験	66	13.0%
釣り	85	16.8%
昆虫採集	39	7.7%
花見・紅葉狩り	258	50.9%
その他	24	4.7%
無回答・無効	10	2.0%
回答数	507	100.0%



問20 お住いの地域についてお尋ねします。ア～オに示す内容について、それぞれあなたの考え・実感に最も近い番号に○をつけてください（○はそれぞれ1つ）

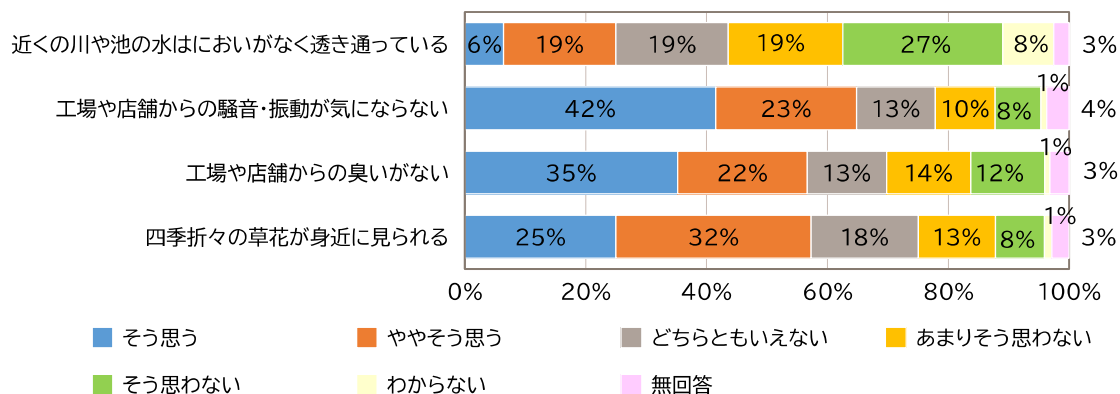
- ・「10年前に比べ暑いと感じる日が増えた」との設問に対して、「とてもそう思う」とする回答は55.4%、「ややそう思う」を合わせると78.9%となっています。
- ・「ごみのぼい捨てや不法投棄が少ない」、「川の水は臭いがなく透き通っている」、「工場や店舗からの騒音・臭いなどが気にならない」、「四季折々の生き物が身近に見られる」との設問に対しては、「とてもそう思う」と「ややそう思う」をあわせても半数に満たない結果となっています。



【参考】現行計画策定時（2013年）の結果との比較

- ・現行計画策定時（2013年）と類似する設問の回答状況を以下に比較しました。
- ・川の水のきれいさについての設問では、「とてもそう思う」「ややそう思う」を合わせた回答は、今回の調査の方が高い割合となっています。川の水に対しての生活実感が向上していると考えられます。
- ・工場や店舗からの騒音・振動、臭いが気にならないかについての設問では、「とてもそう思う」「ややそう思う」を合わせた回答は今回の調査の方が低い割合となっています。一方で、「あまりそう思わない」とする回答割合が増加しています。工場や店舗からの騒音・振動、臭いに対しての生活実感が低下している可能性が考えられます。
- ・設問がやや異なりますが、四季折々の生きものが見られるかどうかについての設問では、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた回答は今回の調査の方が低い割合となっています。前回の調査時が「四季折々の草花」について聞いているのに対して、今回の調査で

は「四季折々の生き物」について聞いたことも回答割合の変化に関係していると考えられます。

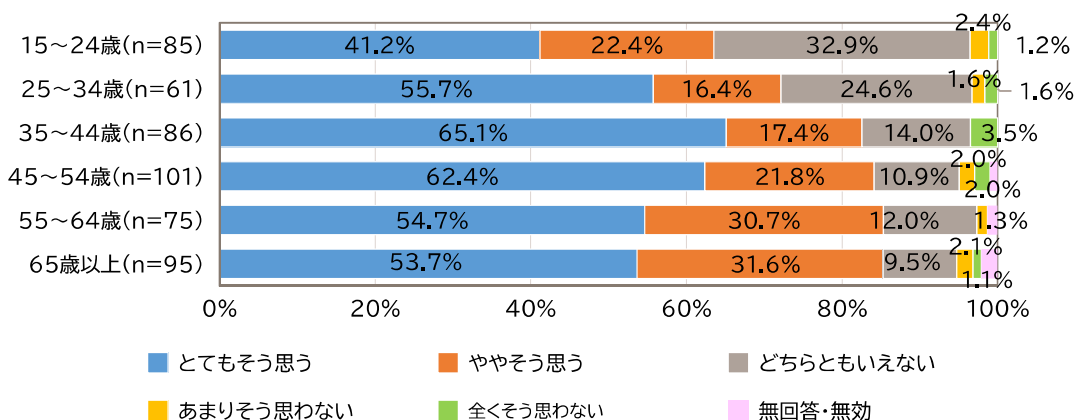


ア. 10年前と比べ暑いと感じる日が増えた

□ 年齢別

・「10年前に比べ暑いと感じる日が増えた」との設問に対して、「とてもそう思う」とする回答は35～44歳、次いで45～54歳の年齢層で高い割合を示しています。

選択肢	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上	無回答・無効	回答数
とてもそう思う	35	34	56	63	41	51	1	281
ややそう思う	19	10	15	22	23	30	0	119
どちらともいえない	28	15	12	11	9	9	0	84
あまりそう思わない	2	1	0	2	1	2	0	8
全くそう思わない	1	1	3	2	0	1	0	8
無回答・無効	0	0	0	1	1	2	3	7
回答数	85	61	86	101	75	95	4	507

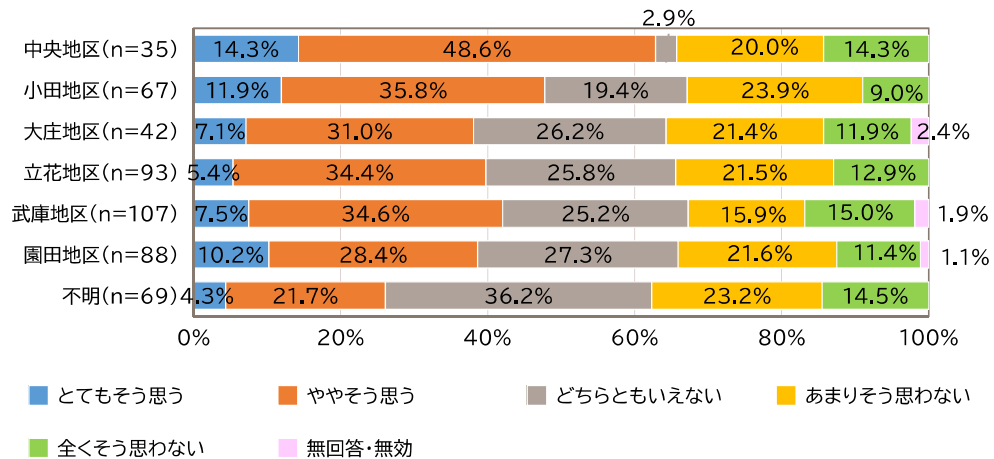


イ. ごみのぼい捨てや不法投棄が少ない

□ 居住地区別

・「ごみのぼい捨てや不法投棄が少ない」との設問に対して、「とてもそう思う」とする回答は中央地区、次いで小田地区で高い割合を示しています。

選択肢	中央地区	小田地区	大庄地区	立花地区	武庫地区	園田地区	不明	無回答・無効	回答数
とてもそう思う	5	8	3	5	8	9	3	0	41
ややそう思う	17	24	13	32	37	25	15	1	164
どちらともいえない	1	13	11	24	27	24	25	1	126
あまりそう思わない	7	16	9	20	17	19	16	1	105
全くそう思わない	5	6	5	12	16	10	10	0	64
無回答・無効	0	0	1	0	2	1	0	3	7
総計	35	67	42	93	107	88	69	6	507

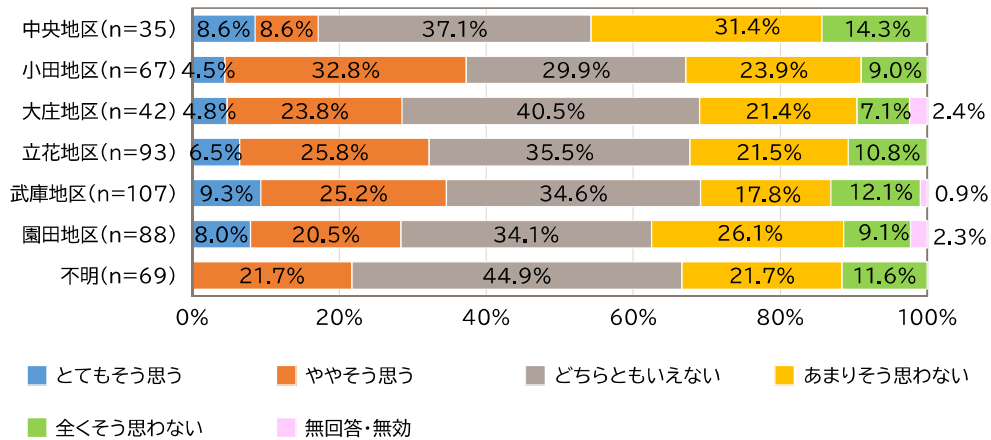


ウ. 川の水は臭いがなく透き通っている

□ 居住地区別

・「川の水は臭いがなく透き通っている」との設問に対して、「とてもそう思う」とする回答は武庫地区、次いで中央地区で高い割合を示しています。

選択肢	中央地区	小田地区	大庄地区	立花地区	武庫地区	園田地区	不明	無回答・無効	回答数
とてもそう思う	3	3	2	6	10	7	0	0	31
ややそう思う	3	22	10	24	27	18	15	1	120
どちらともいえない	13	20	17	33	37	30	31	2	183
あまりそう思わない	11	16	9	20	19	23	15	0	113
全くそう思わない	5	6	3	10	13	8	8	0	53
無回答・無効	0	0	1	0	1	2	0	3	7
総計	35	67	42	93	107	88	69	6	507

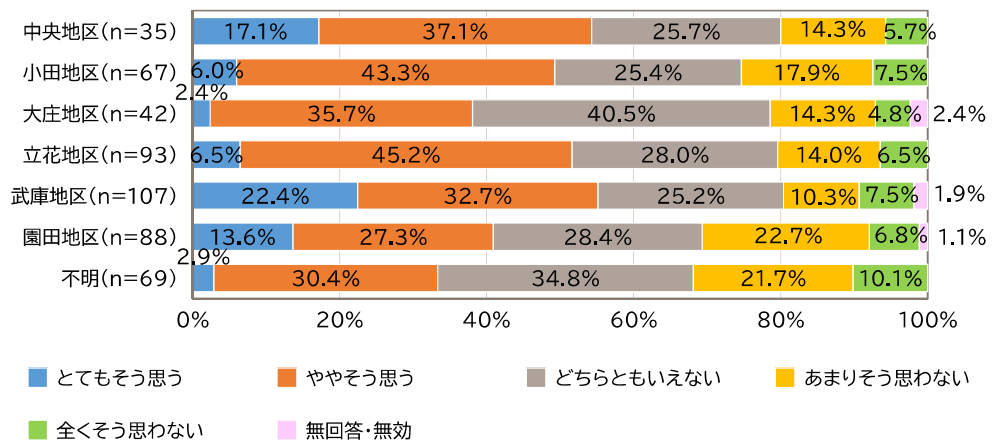


エ. 工場や店舗からの騒音・臭いなどが気にならない

□ 居住地区別

・「工場や店舗からの騒音・臭いなどが気にならない」との設問に対して、「とてもそう思う」とする回答は武庫地区、次いで中央地区で高い割合を示しています。

選択肢	中央地区	小田地区	大庄地区	立花地区	武庫地区	園田地区	不明	無回答・無効	回答数
とてもそう思う	6	4	1	6	24	12	2	1	56
ややそう思う	13	29	15	42	35	24	21	1	180
どちらともいえない	9	17	17	26	27	25	24	1	146
あまりそう思わない	5	12	6	13	11	20	15	0	82
全くそう思わない	2	5	2	6	8	6	7	0	36
無回答・無効	0	0	1	0	2	1	0	3	7
総計	35	67	42	93	107	88	69	6	507

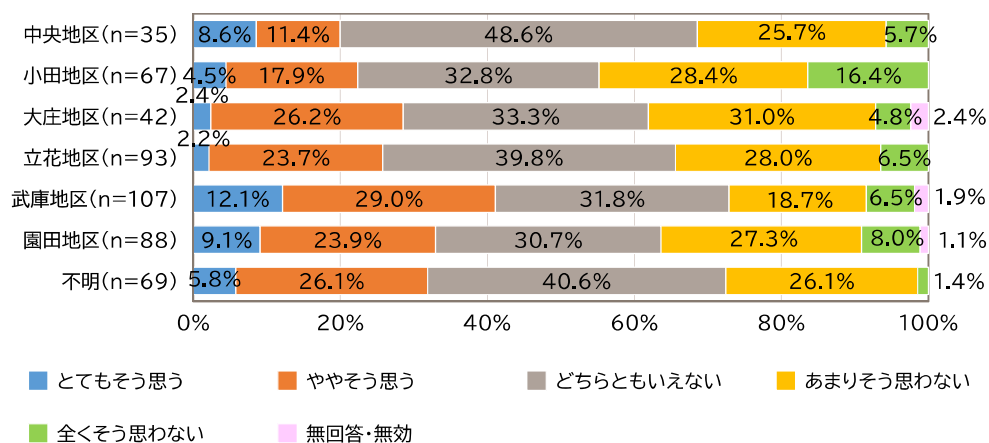


オ. 四季折々の生き物が身近に見られる

□ 居住地区別

・「四季折々の生き物が身近に見られる」との設問に対して、「とてもそう思う」とする回答は武庫地区、次いで園田地区で高い割合を示しています。

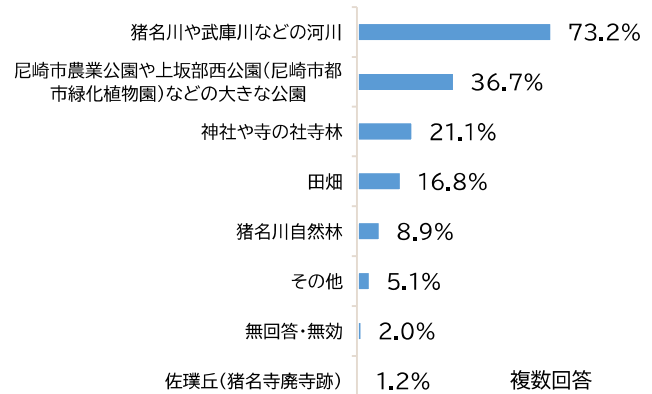
選択肢	中央地区	小田地区	大庄地区	立花地区	武庫地区	園田地区	不明	無回答・無効	回答数
とてもそう思う	3	3	1	2	13	8	4	1	35
ややそう思う	4	12	11	22	31	21	18	1	120
どちらともいえない	17	22	14	37	34	27	28	1	180
あまりそう思わない	9	19	13	26	20	24	18	0	129
全くそう思わない	2	11	2	6	7	7	1	0	36
無回答・無効	0	0	1	0	2	1	0	3	7
総計	35	67	42	93	107	88	69	6	507



問21 尼崎市の自然といえばあなたはどんな風景を思い浮かべますか。当てはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)

- ・「猪名川や武庫川などの河川」とする回答が73.2%と最も多く、ついで、「尼崎市農業公園や上坂部西公園（尼崎市都市緑化植物園）などの大きな公園」が36.7%、「神社や寺の社寺林」が21.1%となっています。

選択肢	合計	割合
猪名川や武庫川などの河川	371	73.2%
猪名川自然林	45	8.9%
佐璞丘(猪名寺廃寺跡)	6	1.2%
尼崎市農業公園や上坂部西公園(尼崎市都市緑化植物園)などの大きな公園	186	36.7%
神社や寺の社寺林	107	21.1%
田畑	85	16.8%
その他	26	5.1%
無回答・無効	10	2.0%
回答数	507	100.0%



問22 尼崎市の自然であなたが大切に思っている・今後も守りたいと思っている場所があれば、理由も合わせて具体的に記入してください。

- ・2件以上の記載があったものを下表に示します。

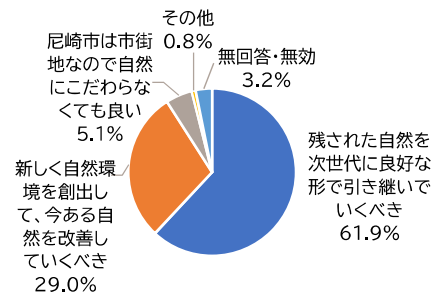
武庫川 34件	近松公園 3件
用水路 25件	富松神社 3件
西武庫公園 8件	尼崎21世紀の森 3件
庄下川 8件	猪名川 3件
田畑 6件	猪名川自然林 2件
上坂部西公園 6件	潮江公園 2件
農業公園 4件	藻川 2件
川・河川敷・水路 3件	

- ・武庫川、用水路、庄下川等の河川、西武庫公園や上坂部西公園などの都市公園が記載内容の上位にあります。
- ・大切に思っている、今後も守りたいと思っている理由としては、武庫川では、「多くの生物が生息しているから」、「四季を感じるから」、「ホタルが見られるから」などの記載があります。都市公園では、「桜が見られる」、「四季を楽しむ」などの記載が見られました。
- ・その他、神社、尼崎21世紀の公園などの記載が見られました。

問23 あなたは、尼崎市内の自然環境が今後どうあるべきと思いますか。最も近い番号に○をつけてください。(○は1つ)

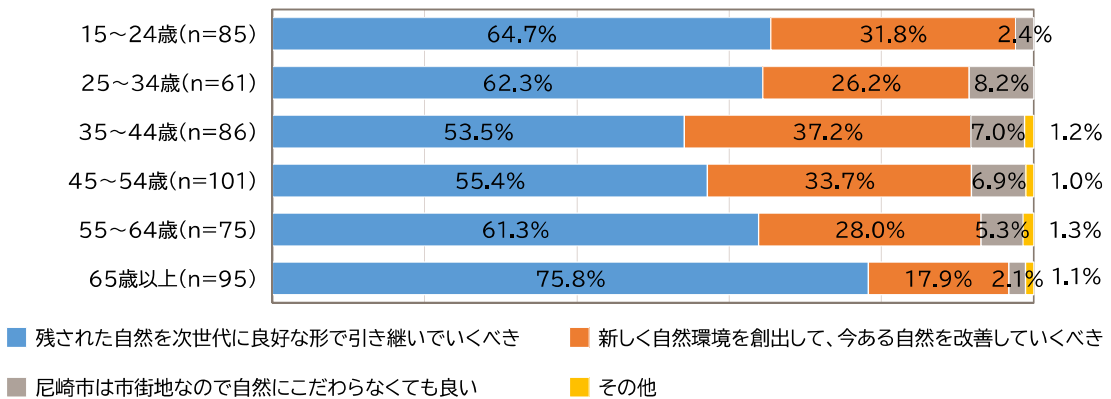
- ・「残された自然を次世代に良好な形で引き継いでいくべき」とする回答が61.9%と最も多く、ついで「新しく自然環境を創出して、今ある自然を改善していくべき」が29.0%、「尼崎市は市街地なので自然にこだわらなくても良い」が5.1%となっています。

選択肢	合計	割合
残された自然を次世代に良好な形で引き継いでいくべき	314	61.9%
新しく自然環境を創出して、今ある自然を改善していくべき	147	29.0%
尼崎市は市街地なので自然にこだわらなくても良い	26	5.1%
その他	4	0.8%
無回答・無効	16	3.2%
回答数	507	100.0%



□ 年齢別

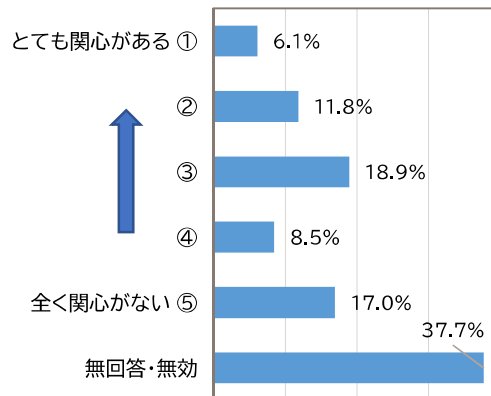
- ・「残された自然を次世代に良好な形で引き継いでいくべき」と答える割合は65歳以上で最も多く、「新しく自然環境を創出して、今ある自然を改善していくべき」と答える割合は35～44歳で最も多くなっています。



問24 現在投資を行っている方にお尋ねします。環境や社会問題、企業のあり方などを考慮して投資をおこなうことをESG投資といいます。あなたはそのような投資に関心がありますか。5段階でお答えください。(〇は1つ)

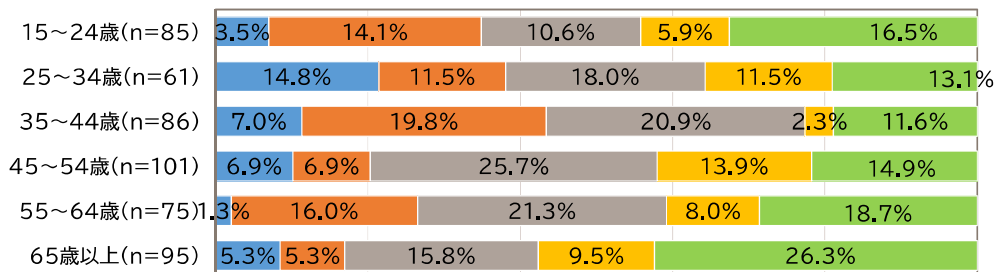
・「無回答・無効」とする回答が37.7%と最も多く、ついで、「③」が18.9%、「全く関心がない ⑤」が17.0%となっています。

選択肢	合計	割合
とても関心がある ①	31	6.1%
②	60	11.8%
③	96	18.9%
④	43	8.5%
全く関心がない ⑤	86	17.0%
無回答・無効	191	37.7%
回答数	507	100.0%



□ 年齢別

・年齢別では、25～34歳で「①とても関心がある」と答える割合が高くなっています。
 ・①、②をあわせた結果で見ると44歳までの若い世代で関心が高い結果となっています。



■ とても関心がある ① ■ ② ■ ③ ■ ④ ■ 全く関心がない ⑤

12 新型コロナウイルス感染症から受けた影響について

問25 新型コロナウイルス感染症の影響を受けてあなたの生活はどのように変化しましたか。当てはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- ・「こまめに手洗いうがいをするようになった」とする回答が75.7%と最も多く、ついで、「レジャーなどの外出が減った」が56.2%、「インターネットショッピングの利用が増えた」が30.6%となっています。

選択肢	合計	割合
テレワーク(学生の場合はオンライン授業)が増えた	91	17.9%
フードデリバリーサービスの利用が増えた	51	10.1%
インターネットショッピングの利用が増えた	155	30.6%
こまめに手洗いうがいをするようになった	384	75.7%
レジャーなどの外出が減った	285	56.2%
その他	24	4.7%
無回答・無効	8	1.6%
回答数	507	100.0%

